

昭和六十一年度 修復文化財関係銘文集成

〈凡例〉

- 本集成は、昭和六十一年度に、京都国立博物館文化財保存修理所における文化財の修復時に確認された銘文等(納入品を含む)を収めたものである。
- 配列は、彫刻・絵画・書跡・工芸に分け、それぞれの銘文の年代順とし、年紀のないものを後にまとめた。
- 銘文の解読は担当者側の判断によったが、なお参照資料として、図版・挿図をできるだけ多く入れた。
- 改行は原文どおりを原則としたが、比較的新しいものについては「」により改行を示したものがあつた。なお漢字は新字体に統一し、異体字は原則として通行の字体に直した。
- 法量の単位はセンチメートルである。
- 各銘文の末尾に、①西暦年 ②修理施工者 ③参考文献 ④所在地 ⑤備考を付した。
- 銘文の解説、釈文の作成は、国指定分については文化庁文化財保護部美術工芸課が行い、それ以外は当館資料調査研究室が担当した。
- 本集成は、担当者が修理所で行った銘文の調査に基づく。その際、各工房から写真等の資料の提供を受け、図版および挿図として使用した。

目次

彫刻

- 1 伎楽面 天平勝宝三年・同四年四月九日・建久七年四月七日・寛政五年三月 奈良 東大寺
- 2 舞楽面 長久三年・承元元年十一月十五日・正元元年四月廿二日 奈良 東大寺
- 3 薬師如来立像 延久六年八月廿五日 滋賀 称念寺
- 4 菩薩面および菩薩面残欠 保元三年三月十一日 奈良 東大寺
- 5 阿弥陀如来立像 文治四年 大阪 八葉蓮華寺
- 6 地藏菩薩半跏像 建長八年五月・慶長十二年五月 京都 薬師寺
- 7 難陀龍王立像 正和五年五月 奈良 長谷寺
- 8 金剛力士立像 元亨二年十月廿七日 長野 波田町
- 9 弥勒菩薩坐像 暦応二年四月八日 滋賀 興隆寺
- 10 釈迦如来坐像 貞和二年六月一日・承□己年・明治十二年三月 愛知 願成寺
- 11 時宗祖師像(その四) 応永十四年二月廿九日・寛永六年五月 京都 長楽寺
- 12 時宗祖師像(その五) 応永□八年十二月・寛永六年五月 京都 長楽寺
- 13 大応国師坐像 康正丙子年 京都 酬恩庵
- 14 赤精童子立像 天文七年五月廿五日 奈良 長谷寺
- 15 十一面観音立像および龍王立像 永禄三年五月十四日・同五月十六日・同六月十八日・同六日晦日 奈良 大福寺

- 16 阿弥陀如来立像 天正八年十一月八日 奈良 北之庄町
- 17 十一面観音立像 元禄十四年七月 島根 長谷寺
- 18 仏徳禪師坐像 享保四年三月 岐阜 永保寺
- 19 孔雀明王坐像(無年紀) 和歌山 金剛峯寺
- 20 阿弥陀如来立像(無年紀) 奈良 安養寺
- 21 地藏菩薩坐像(無年紀) 京都 如意寺
- 22 薬師如来坐像(年紀判読不能) 石川 高爪神社
- 23 浄土曼荼羅図 永禄十一年十二月二十二日・寛永十五年十月十八日 山梨 善光寺
- 24 絵馬(繫馬図のうち黒馬分) 天正五年三月十三日 広島 浄土寺
- 25 阿弥陀三尊来迎図 元禄二年七月十五日 愛知 服部操
- 26 両界曼荼羅図 文化九年六月 奈良 西大寺
- 27 春の風図 大正五年五月 大分 大分県立芸術会館
- 28 三十六歌仙帖(無年紀) 東京国立博物館
- 29 新羅飯万呂請暇解(無年紀) 国立歴史民俗博物館
- 30 緋羅紗繡花鳥円文水引(無年紀) 京都 黒主山保存会

工芸

彫刻

1 伎楽面(図1) 重要文化財

二十一面

奈良 東大寺

師子兒又は大孤兒(図1-1) 縦二六・三 木造、⁴※『奈良六大寺大観』第一〇卷 東大寺二 所載の番号。以下同様。

〔面裏墨書〕

捨目師作

②(財)美術院 ③『奈良六大寺大観』第一〇卷 東大寺二(岩波書店 昭和四十三年) ④奈良県奈良市雑司町四〇六一(②③④は以下同様、省略)

師子兒又は大孤兒(図1-2) 縦二六・四 木造(六大寺 5)

〔面裏墨書〕

捨目師作

師子兒又は大孤兒(図1-3) 縦二五・〇 木造(六大寺 6)

〔面裏墨書〕

東□寺□

後三

治道^カ(縦三三・二 木造(六大寺 3))

〔面裏朱漆書〕

天平勝宝三辛卯年彫刻之

于時寛政五天癸丑春三月

修補之

東大寺公物

①天平勝宝三年(七五二)・寛政五年(一七九三)

呉公^カ(図1-4) 縦二三・六 木造(六大寺 9)

〔面裏墨書〕

捨目師

迦楼羅(縦三四・〇 木造(六大寺 11))

〔面裏墨書〕

東大寺 □□□□

右 □□

綱封蔵□面□□□□□□

□□□□ □□

□□□□□□

崑崙(縦三八・六 木造 〔六大寺 12〕)

〔面裏墨書〕

□□□□

□

崑崙(縦四〇・八 木造 〔六大寺 13〕)

〔面裏墨書〕

□□□□

力士カ(図1-5) 縦三一・〇 木造 〔六大寺 16〕

〔面裏朱漆書〕

天平勝宝三辛卯年彫刻之

于時寛政五歳癸丑春三月

令修補之畢

東大寺公物

①天平勝宝三年(七五一)・寛政五年(一七九三)

力士カ(縦三三・七 木造 〔六大寺 17〕)

〔面裏朱漆書〕

天平勝宝三辛卯年造彫之

于時寛政五天癸丑春三月

令修覆之畢

東大寺公物

①天平勝宝三年(七五一)・寛政五年(一七九三)

大孤父(縦三〇・二 木造 〔六大寺 20〕)

〔面裏朱漆書〕

天平勝宝三辛卯年造之

于時寛政五歳癸丑三月

修補之

東大寺公物

①天平勝宝三年(七五一)・寛政五年(一七九三)

大孤父(縦三一・七 木造 〔六大寺 21〕)

〔面裏朱漆書〕

天平勝宝三辛卯年造之

于時寛政五歳癸丑三月

修補之

東大寺公物

①天平勝宝三年（七五一）・寛政五年（一七九三）

醉胡従（縦四四・六 木造〈六大寺 22〉）

〔面裏墨書〕

東大寺

醉胡従（縦三一・五 木造〈六大寺 1〉）
〔面裏朱漆書〕

天平勝宝三辛卯年造彫之
于時寛政五天癸丑春三月
令修覆之畢

東大寺公物

①天平勝宝三年（七五一）・寛政五年（一七九三）

醉胡従（縦三一・八 木造〈六大寺 2〉）

〔面裏墨書〕

東大寺

醉胡従（縦三三・四 木造〈六大寺 24〉）

〔面裏墨書〕

東大寺
基永師
彫作

前二

天平勝宝四年四月九日

①天平勝宝四年（七五二）

醉胡従（図1—(6) 縦二九・八 木造〈六大寺 25〉）

〔面裏墨書〕

基永師作

醉胡従（図1—(7) 縦二七・八 木造〈六大寺 27〉）

〔面裏墨書〕

東大寺

後 天平勝宝四年

①天平勝宝四年（七五二）

治道^カ（縦三五・四 木造〈六大寺 32〉）

〔面裏朱漆書〕

建久七―四―七

康慶

〔面表左頬部墨書〕

公物^國院

①建久七年（一一九六）

師子兒^カ（縦二八・七 木造〈六大寺 33〉）

〔面裏墨書〕

□

醉胡從（^國1―8） 縦二九・四 乾漆造 〈六大寺 29〉

〔面裏朱漆書〕

東大寺 ^{相季魚成作}
天平勝宝四年四月九日

①天平勝宝四年（七五二）

2 舞樂面（^國2）重要文化財

六面

奈良 東大寺

皇仁庭（一）（縦二一・一 木造〈六大寺 1〉※『奈良六大寺大観』第一〇卷 東大寺二所載の番号。以下同様。）

〔面裏墨書〕

東大寺 ^{長久三年}

①長久三年（一〇四二） ②（財）美術院 ③『奈良六大寺大観』第一〇卷 東大寺二（岩波書店 昭和四十三年） ④奈良県奈良市雑司町四〇六一―一（②③④は以下同様、省略）

皇仁庭（二）（^國2―1） 縦二〇・八 木造〈六大寺 2〉

〔面裏墨書〕

東大寺長久三年

①長久三年（一〇四二） ⑤転写銘

皇仁庭（三）（^國2―2） 縦二一・二 木造〈六大寺 3〉

〔面裏墨書〕

東大寺 ^{長久三年}

①長久三年（一〇四二）

皇仁庭(四)(縦二一・五 木造へ六大寺 4)

〔面裏墨書〕

東大寺長久三年

①長久三年(一〇四二) ⑤転写銘

散手(縦二一・九 木造へ六大寺 28)

〔面裏朱漆書〕

最勝四天王院 以新日吉本模之
承元元年十一月十五日
仏師法眼院賢

①承元元年(一一〇七)

陵王(縦三四・八 木造へ六大寺 30)

〔面裏朱漆書〕

正元三年四月廿二日

①正元元年(一二五九) ⑤転写銘

3 薬師如来立像(図3) 重要文化財

一 軀

滋賀 称念寺
木造古色 像高二一六・三

〔像内背部(背板) 墨書〕

石師(宝力)□光 沙弥頼深

僧(寿力)□僧 僧(興力)□僧 大中臣爾時

僧(寿力)□能 僧長久 僧春□

手尽僧頼円 結縁人、漢人□□同常(定力)(任力)

成次記寅御庄本家円因房大僧都時 仏師僧源増 僧光(下)□沙弥妙源

延久六年八月廿五日午時彼岸入日庚寅 甌聖僧念□僧源満(兼力)

賀守宮延船延□(成力)

①延久六年(一一〇七) ②(財)美術院 ③丸尾彰三郎他編『日本

彫刻史基礎資料集成 平安時代 造像銘記篇』第二卷(中央公論美

術出版 昭和四十二年) ②滋賀県高島郡マキノ町大字上開田

4 菩薩面および菩薩面残欠(図4) 重要文化財 一面二片

奈良 東大寺

菩薩(三)(図4-1) 縦一九・八 木造へ六大寺 1、※『奈良六大寺大観』
第一〇卷 東大寺二 所載の番号。以下同様。

〔面裏墨書〕

観□

②(財)美術院 ③『奈良六大寺大観』 第一〇卷 東大寺二(岩波書店 昭和四十三年) ④奈良県奈良市雑司町四〇六一(②③④は以下同様、省略)

菩薩面残欠(二) (図4-2) 縦三・一 木造(六大寺 6)

〔面裏陰刻〕

□□

中宮□頭長

保元三年三月十一日

①保元三年(一一五八)

菩薩面残欠(三) (図4-3) 縦三・二 木造(六大寺 7)

〔面裏陰刻〕

□□□菩薩

中宮□頭長

保元三年三月十一日

①保元三年(一一五八)

5 阿弥陀如来立像 重要文化財

大阪 八葉蓮華寺

一軀

木造漆箔 像高八二・三

〔像内胸部墨書〕

阿

阿弥陀仏

阿

〔左足柄外側墨書〕

巧匠

阿弥陀仏

※以下像内納入品奥書等、各墨書。

〔阿弥陀経奥書〕

前権少僧都明遍自筆

〔法華経序品端裏書〕

雖有一部書写願終功第一第二両卷取其中序品為備

弥陀万徳奉納仏藏中

自筆法華経一部内序品 永慶(花押)

〔阿弥陀如来及菩薩形印仏、第一紙端裏書〕

一千余体阿弥陀之摺写像結縁之衆 尼西蓮 尼蓮妙

僧惠敏頼主 僧永慶 愛王丸
僧頼遍

〔同、第三紙奥書〕

一千余体像為四恩法界平等利益臨終正念

〔同、第三紙端裏書〕

往生極樂也 惠敏生年廿六

〔包紙（阿弥陀経等一卷を含む）ウハ書〕

過去 蓮阿弥陀仏妙阿弥陀仏三ヶ時フム若女行家
定阿弥陀仏 円阿弥陀仏 真阿弥陀仏 義阿弥陀仏 覚阿弥陀
仏 智阿弥陀仏
有一切衆生也
南無阿弥陀仏
惠敏

〔文治四年地子注文〕

もんち四ねんのけち（カ）申候（カ）
たなかより五セウ
もんさうハウ三セウこれはハたけのうち
やまたより七升八かう
又たなかより八升六かう
もりかけより七セウ
又やまたよりふくすか九升七かう（カ）

又もりかけ（カ）のくにみつ四斗二升

又たなかのすえなり一斗

又やまたより六斗ゆき（カ）つき（カ）か上（カ）

又もりかけのくにみつ一斗

えちう八セウ

又こ源太殿一斗

又たなかの三斗三セウ

こはやしの二斗

又やまたのふくすかむこ一斗

〔同紙背〕

妙阿弥陀仏

ふちわらのうち

さみしやくあ

あまめうあみたふ

あまりんあみたふ

あまめうほう

あましんあみたふ

はたのうち

とうい六あま

僧良（カ）

木（カ） 丁サ

定西

蓮妙
西妙

〔我阿弥陀仏御房宛僧賢印書状〕

御仏迎人々令進上候又布三段

蓮九枚雨皮竹等沙汰仕候天進上仕候

又見苦候とも次天候は白米一斗七升

御菜三種 (瓜または菰か) □ 二荷令進上候返々

乏少候とも便宜天候申候也委旨

此僧申上可候恐々謹言

八月四日 僧賢印

我阿弥陀仏御房

〔同紙背〕

我弥陀仏

〔書状断簡(首尾欠)〕

〓 させ候(か)て

候らんこそめて「おんや」異筆たく候へやか

ても「□□□□」異筆まいりたく候へとも山寺ニ

これうにわたらせおはし

まし候ときにえまいり候はず

いま四五日はかり候てのほり

候て御仏の御なかにこめまい

〓 候おももちて
〓 て

〔願文〕

発願

願我生々 世々之中 心念弥陀

口称名号 雖生三悪 八難之処

以此願力 永不忘失 唯願世尊

示我令見 功德莊嚴 相好光明

現身發得 念仏三昧 命終決定

往生極樂 生彼国已 以本願故

還到本国 引撰縁結 乃至法界

平等利益 自他同證 無上菩提

同修普賢 無尽行願 同證真如

實際法性

〔無量寿経抜書及願文〕

(前略)

願我臨欲命終時

尽除一切諸障礙

面見彼佛阿弥陀

即得往生安樂刹

我既往生彼国已

現前成就此大願

一切円満尽無余
利樂一切衆生界

①文治四年(一一八八) ②(財)美術院 ③齊藤望「大阪・八葉蓮華寺の阿弥陀如来立像」(『仏教芸術』一五一 昭和五十八年)、根立研介「快慶作八葉蓮華寺阿弥陀如来像納入品について」(『ミュージアム』四四二 昭和六十三年) ④大阪府交野市傍示一一一 ⑤本誌「修理報告」参照。

6 地藏菩薩半跏像 京都市指定文化財

一 軀
京都 薬師寺
木造彩色 像高七八・一

〔像内背面墨書〕

此像者求仏房造立
不知何年月而破損之間
建長八年辰丙五月日
奉修復之 仏子照空敬白

仏師日尊沙函

〔像内腹部墨書〕

南無三宝大荒神
今度奉地藏并御堂依及大破
本尊御堂修復再興者也然二六
道者自薬師寺被両知所也亦薬

師寺者於僧相拘之間如此令修造者也

慶長十二丁未年五月吉辰(2) 沙 先功德院
門 当薬師寺也

性慶(花神)

奉仏師者下野国日光山麓西方
般若寺住僧楚椿修業者也

〔像内頭部墨書〕

(梵字五行)

南無地藏菩薩

(梵字七行)

〔宝珠底面墨書〕

小野篁

□
地 □ □ □

①建長八年(一一五六)・慶長十二年(一六〇七) ②(財)美術院 ④
京都府京都市右京区嵯峨釈迦堂藤ノ木町四六

7 難陀龍王立像(図5) 重要文化財

一 軀
奈良 長谷寺
木造彩色 像高一六七・七

〔像内後頭部墨書〕

大仏師舜慶 □ 法橋心慶

子息慶実慶弘

弟子幸春 堯舜 幸心 雲喜

正和五年丙辰五月二日始之同月十三日

奉造立畢

(異世)

〔像内首部右側墨書〕

□ 法界

恵 観

□

〔像内首部正面下端墨書 左から右へ〕

(宗カ) 印

〔像内首部左側下端墨書〕

〔像内首部左側下端木口墨書〕

頼 □

(同右側下端木口にも墨書数文字があるが、判読不能)

〔像内首柄受部正面墨書〕

千代寿

慶祐四科

(大部分は削りとられる)

〔同左側〕

□ 順弘 □

(同右側に数文字があるが、判読不能)

〔体部材左肩矧面墨書〕

千代菊丸 翻五郎

実弁

□ □ □ □ □ 郎

八郎二郎

□ □ □ □ □

〔同右肩矧面墨書〕

運清十一月一日

運秀正月十四日

〔台座裏墨書〕

侍阿法道預修妙善

為七世父母也心中諸願

皆令滿足明喜（花押）

為現世安穩後生善処法界普利耳

重尊宗盛慶惠弟子惠觀

仏師善光寺妙海生年三十九也

〔吽形像内腰部墨書〕

大勸進金剛□子良円生年

奉造立二王二（六十七） 元□二年（目） 十月

大檀那源重久

仏師善光寺妙海生年三十（九）

①元亨二年（一三二二） ②（財）美術院 ④長野県東筑摩郡波田町

①正和五年（一三一六） ②（財）美術院 ③長谷川誠「資料 長谷寺本尊随侍像体内納入品」『研究論集』1奈良国立文化財研究所 学報第二十一冊 昭和四十七年）、『解説版 新指定重要文化財 三彫刻』（毎日新聞社 昭和五十六年） ④奈良県桜井市大字初瀬七三一—

9 弥勒菩薩坐像（図7） 滋賀県指定文化財

一 軀
滋賀 興隆寺
木造 像高一三六・二

8 金剛力士立像（図6） 長野県指定文化財

二 軀

長野 波田町

木造 像高二五六・〇（阿形）

二五七・〇（吽形）

〔像内背部墨書〕

興隆寺本尊慈氏世尊根本□

相応和尚御作也

弘唵□□□□

曆応三年（庚辰） 四月八日奉修復了 □訶

天台黒谷沙門光案

沙門円教

沙門賢□

沙門□□

沙門□覺

〔阿形像内腰部墨書〕

大勸進金剛仏子良円生年六十一□

奉造立二王（二） 元亨二年（大） 十月廿七日

大檀那源重久



①暦応三年（一三四〇） ②（財）美術院 ③滋賀県近江八幡市多賀町

10 釈迦如来坐像（図8）西尾市指定文化財

一 軀
愛知 願成寺
木造彩色 像高四〇・九

〔像内両足部墨書〕

貞和二年丙戌六月一日作始之
大仏師性慶法印

〔像内後頭部墨書〕

比丘僧琳覚（花押）

〔像内胸腹部墨書〕

比丘僧琳覚（花押）

〔白毫孔内納入舍利包紙墨書〕

孔内納入

〔像内胸部孔内納入舍利包紙墨書〕

佛舍利を納る

〔像内体側部墨書〕

明治十二年

卯三月

作直し

一色天神町

仏師

弥四郎

直之

〔台座隅足底面墨書〕

西町宝光寺キ承（嘉）□己年□西□寺（立）



①貞和二年（一三四六）・明治十二年（一八七九） ②（財）美術院 ③猪川和子「新知見の南北朝時代在銘像」（『美術研究』二八〇 昭和四十七年、『日本古彫刻史論』所収） ④愛知県西尾市巨海町西脇五八 ⑤白毫孔と胸部孔内にそれぞれ納入された舍利の納入状況は次のとおり。前者は、像内内割り面まで貫通した白毫孔の内側から、二紙（一紙に墨書）に包まれた舍利が納入され、当木でこれを塞ぐ。後者は、胸部内割り面に穿たれた孔に、一紙（墨書）に包まれた舍利が納入され、布でこれを押える。

11 時宗祖師像（その四 図9） 重要文化財

一 軀
京都 長樂寺
木造彩色 像高七九・〇

〔像表面脚部中央朱漆書〕

十三代

〔像内体部前面墨書〕

金光寺第十三代

応永十四年二月廿九日康祐法印
子康秀法橋

多阿上人御影正年
五十八歳

〔両手指・掌墨書〕

（左手）

南無阿彌陀仏

南無阿彌陀仏

南無阿彌陀仏

（右手）

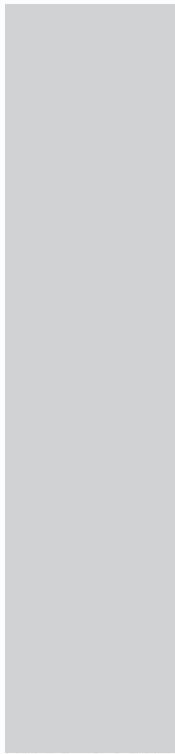
南無阿彌陀仏

南無阿彌陀仏

南無阿彌陀仏

〔像内背部打付木札墨書〕

金光寺十三代御影同七条廿一代
住持大仏師法眼康猶再興之
于時寛永六年五月吉日



① 応永十四年（一四〇七）・寛永六年（一六二九） ②（財）美術院 ④
京都府京都市東山区八坂鳥居前東入ル円山町六二六

12 時宗祖師像（その五 図10） 重要文化財

一 軀
京都 長樂寺
木造彩色 像高八〇・六

〔像表面脚部中央朱漆書〕

十五代上人

〔像内首部前面墨書〕

（十カ）（一カ）（目カ）

御ゆきやう上人

たい十

さく（着カ）下野

□□□^(法)

おえい□^(廿)八年

十二月

七条仏所

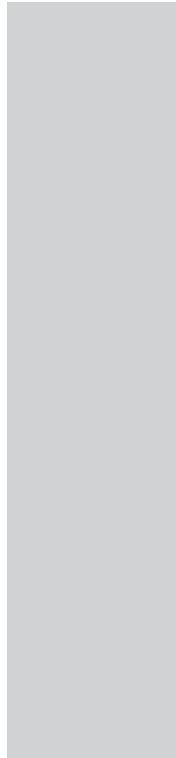


〔像内背部打付木札墨書〕

此御影七条廿一代住持同大仏師法眼

康猶廿三代再興之

于時寛永六年五月吉日



① 応永二十八年(一四二二)・寛永六年(一六二九) ② (財)美術院

④ 同前

13 大応国師坐像 (図11) 京都府登録文化財

一 軀

京都 酬恩庵

木造彩色 像高一・〇

〔垂裳裏面刻書〕

一休和尚小師宗本造之

康正^丙孟夏日 (花押)

① 康正二年(一四五六) ② (財)美術院 ④ 京都府綴喜郡田辺町大字
薪小字里ノ内一〇二

14 赤精童子立像 (図12) 重要文化財

一 軀

奈良 長谷寺

木造彩色 像高一六六・〇

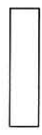
〔首柄中央切欠部墨書〕

為^金太郎

□□三郎

妙^金海盛

□^源五郎



二親

^奉加海秀

〔首柄底部に墨書があるが、判読不能〕

〔両肩傭柄(体部を左右に貫く)墨書〕

(上面)

弘

宥
慈眼

視

衆生

〇

〇

〇

(左方前面)

長観

海春

(右方前面)

申
為西蓮

成仏

〇
成仏
飛

(左方木口、右方後面に墨書があるが、判読不能)

(像内首柄受部墨書(下から上に))

源〇〇、宗〇、西蓮、その他多数の人名があるが、判読不能。

(体部材左肩矧面墨書(方向不同、重ねがき、次のような人名等がある))

禪尼浄泉、禪門、良先宗見、祐〇、妙〇六親〇属等、永秀、乃至
法界、浄慶、道行、良〇、〇海上人、春〇、母人、

(体部材右肩矧面墨書)

(左端、上から下へ)

天文七年

五月廿五日 十方衆生

(全面に、方向不同。次のような人名等が認められる)

阿〇〇、御きたう、〇め〇、同八もん〇為大夫、同ヲカタ、

二親〇、七世父母、南無〇童子、十方衆生、〇道〇、長心乗〇、

実任〇、次郎丸、宗〇、周芳道勝母人、妙心、御マ、

周英、順〇、南無阿〇、

(左腕材肩部矧面墨書(全面に、方向不同))

〇金〇清観、洞玉禅、宗学、印、母、心妙、乃法界、福

女、西道禅〇、心中、覚芸、宗〇如、阿嚴、成成仏、常慶、

道西〇、道西〇、〇ん〇、妙〇、諸願成就〇也、はは、

法界衆生、〇め、〇上むひうそくさい〇せんのん、〇阿弥、南

〇、諸願成就、乃至、宝〇法、智〇、围心、仙長、実

祐、坊門、聖禅、

(右腕材肩部矧面墨書(全面に、方向不同))

南無阿弥陀仏、祐音、長観、英〇、安、岩、所願也、世〇盛、賢、

禅〇、海〇、南無〇、良〇

①天文七年(一五三八) ②(財)美術院 ③長谷川誠「資料」長谷寺
本尊随侍像体内納入品(『研究論集』I 奈良国立文化財研究所学報

第二十一冊 昭和四十七年)、『解説版 新指定重要文化財 三 彫刻』(毎日新聞社 昭和五十六年) ④奈良県桜井市大字初瀬七三一― ⑤難陀龍王像、赤精童子像の像内納入品は昭和六十二年度修理予定。参考のために、赤精童子像像内納入木札(二八・二cm×五・五cm)の墨書を記す。

(表)

大仏師運宗 海運 明信 丹後 且馬

赤精童子執行秋山新介殿 遠江守殿 藤 殿

本願音海 藤宮 堯盛 長清

(裏)

天文六年_{丁酉}十二月廿八日

15 十一面観音立像および竜王立像(図13) 奈良県指定文化財 二 軀

奈良 大福寺

木造彩色 像高一八三・二(十一面)

七七・八(竜王)

〔十一面観音像内背部墨書〕

長谷寺之同作也

箸尾殿御立願

永祿三年_{辰甲}五月十六日 刀始

妙金

光西春教 南都宿院仏師

空阿弥陀仏 源衛門子源四郎 源五郎 良紹

〔十一面観音像内後頭部墨書〕

作者南都宿院仏師

永祿三年_{庚申}六月十八日

空阿 源次 源三郎 良紹

光阿 源四郎 藤松_(宿之)

源五郎

〔竜王像内頸部墨書〕

永祿三年_{庚申}六月晦日

作者

南都宿院仏師源衛門尉

〔竜王像内胸部墨書〕

作者南都宿院仏師 良紹

箸尾殿御立願也 源衛門 源三郎 源四郎

永祿三曆_{庚申}五月十四日刀始

妙金 空阿弥 光西 春教 法界

①永祿三年(一五六〇) ②(財)美術院 ③土井実『奈良県銘文集成』
(大和歴史館研究会 昭和三十一年) ④奈良県北葛城郡広陵町の場
八〇

16 阿弥陀如来立像 奈良県指定文化財

奈良 北之庄町

木造漆箔 像高九八・五

〔台座心棒受棧墨書〕

北庄龍福寺此阿弥陀

安申□□為惣座

天正八年_亥□十一月八日

〔台座框座底面墨書〕

(1) 寺僧

泉識「春乘」円賢「宗泉

(2) 天五郎 道阿弥「道清 弥三 道甚_(善方)

(3) 清五郎「新九郎」弥六「源四郎」孫衛門「藤五郎

(4) 左近 六郎三郎「新四郎」宇五郎 喜三郎

①天正八年(一五八〇) ②(財)美術院 ④奈良県奈良市北之庄町

17 十一面観音立像 島根県指定文化財

一軀

島根 長谷寺

木造素地 像高一六〇・六

〔光背裏面朱書〕

奉重莊嚴台座後光 洛陽仏師法橋中井宗悦作

皆元禄十四年歲次辛巳七月如意珠日

当山七世覚翁照海代

①元禄十四年(一七〇二) ②(財)美術院 ④島根県大原郡加茂町大字三代

18 仏徳禪師坐像 岐阜県指定文化財

一 軀
岐阜 永保寺

木造彩色 像高七〇・〇

〔袈裟垂下部裏面墨書〕

開山勅諭仏徳禪師元翁

塑像滅後到三百八十九歳

類依之闔山清衆以木易

爰東濃土岐郡多治見

加藤新太郎景信同名勸郎幹寿

親子為資助春岩浄栄庵主瑞林

妙祥大姉之冥福摘宝財令彫刻這筒

之木像者也

享保四年^己三月初〇日

維那祖鼎

侍真正円

侍聖玄靈

鑑寺祖運

看方丈智珉

放午正通 妙珠

住山 俊貌

笑峰祖閻 正瑚

惠舶 義益

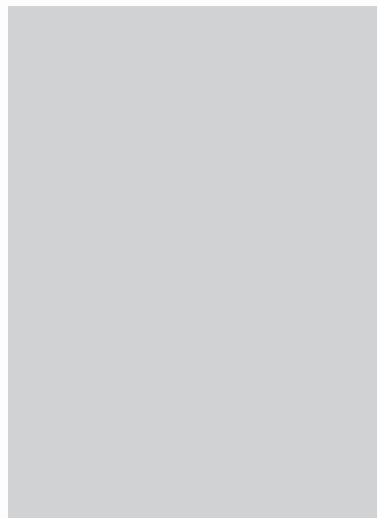
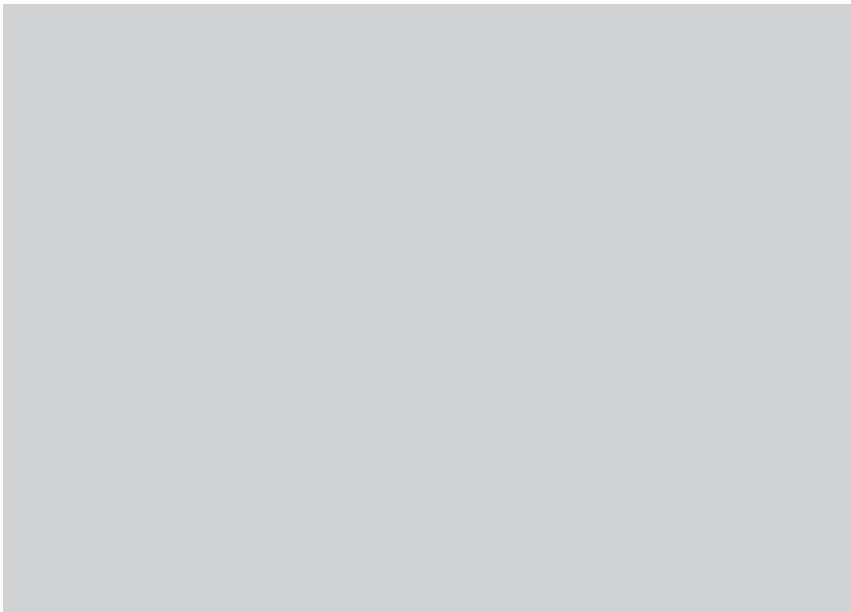
妙逸 義富

妙弁 義屋

現衆 正琳 全宣

①享保四年(一七一九) ②(財)美術院 ④岐阜県多治見市虎溪山町

一一四〇



19 孔雀明王坐像 重要文化財

一軀
和歌山 金剛峯寺
木造彩色切金文様 像高七七・八

〔像内脚部朱漆書 右から左へ〕

巧匠 阿弥陀仏快慶

〔像内頭部墨書〕

〔前面 上から下へ〕

又

又
〔玉眼押え木〕

南無阿

又

〔後面 上から下へ〕

又

又
又
又

又

②〔財〕美術院 ③毛利久『仏師快慶論』（吉川弘文館 昭和三十六年、『仏師快慶論 増補版』昭和六十二年 所収） ④和歌山県伊都郡高野町大字高野山 ⑤像内脚部の朱漆書は後世の漆塗面に記され、後銘とみられる。本誌「修理報告」参照。

20 阿弥陀如来立像（図14） 重要文化財

一軀
奈良 安養寺
木造金泥切金文様 像高八一・五

〔右足柄前面墨書〕

生阿弥陀仏

〔左足柄前面墨書〕

□阿弥陀仏

〔左足柄外側墨書〕

巧匠

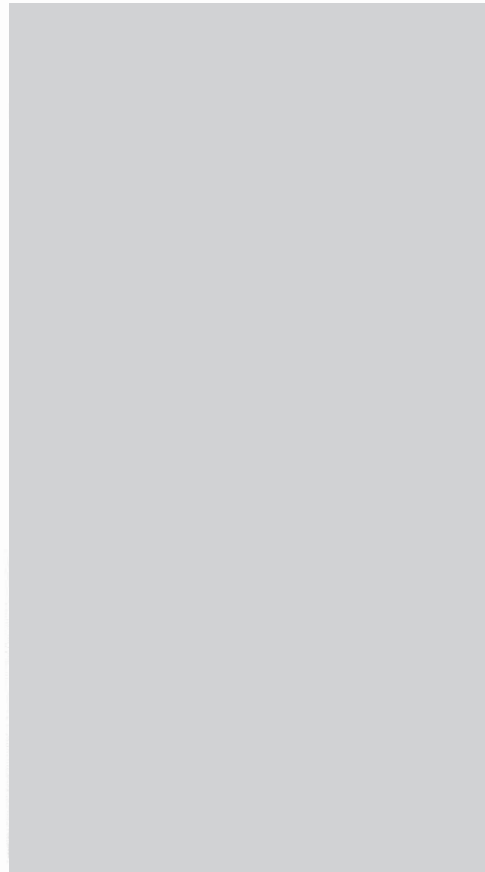
安阿弥陀仏

②〔財〕美術院 ③紺野敏文「奈良・安養寺の阿弥陀如来立像」（『仏教芸術』一五一 昭和五十八年） ④奈良県磯城郡田原本町八尾四〇 ⑤左足柄外側の墨書は前二者とは別筆で、削り直し面に記され、後銘とみられる。

21 地藏菩薩坐像（図15） 京都府指定文化財

一軀
京都 如意寺
木造彩色 像高五二・二

〔像内前頭部墨書〕



〔像内頸部―胸部墨書〕

ㄥ ㄥ 阿弥陀仏

〔像内両足部墨書〕

□ ㄥ

巧匠 ㄥ 阿弥陀仏

〔右玉眼押え紙〕

安阿弥陀 ㄥ 房

□ □

②(財)美術院 ③『京都の美術工芸 与謝・丹後編』(京都府文化財
保護基金 昭和五十八年) ④京都府官津市字由良

22 薬師如来坐像 一 軀

石川 高爪神社
木造漆箔 像高八一・〇

〔像内顔面―頸部墨書〕

□ 法寺

奉造立 □ (脇)

□ □ 十日

仏師 □ □ (前)

〔像内背面墨書〕

□ □ □ □

平 □ □ □ 夏

大 □ □ □ □ 進

□ □ □ □ □ □ 郎

②(財)美術院 ④石川県金沢市広坂二―一―一

絵 画

23 浄土曼荼羅図 (図 16) 山梨県指定文化財

絹本着色 縦一八九・五 横一八六・五
山梨 善光寺 一幅

〔総裏紙墨書・1〕

甲斐国善光寺々内曼荼羅堂御物之

本尊芒不可出他所者也於同持主空遠西誉

代相望者也依之寄進重宝曼陀羅粧畢

右為奉寄進彼曼陀羅信心孝主清光上人和尚

逆修善根也并勸進奉加玄正行蓮善次郎

清福淨願妙林妙專正覚坊淨泉淨繁存次郎

善明縫右衛門新六次郎左衛門同内主助左衛門妙林

同中 与次郎 平源 善左衛門表粧勸進也

于時永祿拾一年戊辰十二月貳三日 敬白

当寺三代住持淨蓮社西誉空遠和尚（花押）

念誉空善

蛤誉良賢

〔総裏紙墨書・2〕

甲州善光寺住持信州御将来之古「曼陀羅表具退破付而武州豊島郡」

浅草寺於御仮殿欲蒙十方檀那「勸砌檀度樂施衆心悦可而修造之功」

咄嗟成就畢浅草寺智樂院時之「權僧正忠尊依助成和合之德豈永」

功朽矢耶」于寛永十五季寅戊十月十八日敬白」執持 稻川大和 織

治内記」宿坊 正音坊」発起 稻垣莊左衛門 同清兵衛」願主光

蓮社明誉和尚得道」銀竜 泉良 聞能」筆者法蔵院良慶

〔軸木外墨書〕

(1) 此曼荼羅繪粮鎌倉泉谷浄光明寺地藏院常住物坂東飢饉之年「永正五年^{辰戌}当寺壳候而寄進檀那朝比奈備中守母和日并娶調大姉也」今再興修補享祿五年^{辰壬}卯月十六日当寺住持芳誉上人本願沙門也」表甫繪師京岡村左衛門次郎久吉^{云々}

(2) 甲州善光寺「寛永拾五年^{寅戌}十月十五日日本願得道

〔上卷絹墨書〕

六月廿三日御修繕

〔風帶裏打紙墨書〕

野口「勸化方」まる屋

①永祿十一年(一五六八)・寛永十五年(一六三八) ②(株)宇佐美松鶴堂 ④山梨県甲府市善光寺三一三六一一

24 繪馬(繫馬図のうち黒馬分 図17) 広島県指定文化財

一面
広島 浄土寺

木造彩色

〔表面右方墨書〕

奉掛繪馬幡州明石郡船上之住人石井与次兵衛尉

〔表面左方墨書〕

天正五季丁丑三月十三日□□宛歳謹言

①天正五年(一五七七) ②(財)美術院 ④広島県尾道市東久保町二〇ノ二八

25 阿弥陀三尊来迎図 愛知県指定文化財

一幅
愛知 服部 操

絹本着色 縦七〇・八 横三〇・五

〔総裏紙墨書〕

夫這三尊之画像者伝「聞為慧心僧都正筆也」吾之服部家代々相伝之「重宝也先祖以往臨命終」之時掛在枕上而齋執於終「所以世々相喚号臨終仏矣」今歳元禄二_己曆夷則十五_己日喜捨画像於当村安養山「極樂于精舎而雖擬為常」什物後々之住僧作此於己「物而衍于私用亦不識故成」遠慮且預置而已後來之「住僧莫紛失焉因以記焉」豈元禄二_己曆七月十五日「安養山極樂住僧榮禪代（黒印）」施主服部長衛門尉「正詮（花押）」

①元禄二年（一六八九） ②（株）宇佐美松鶴堂 ④愛知県刈谷市広小路四丁目二二三番地

26 両界曼荼羅図 奈良県指定文化財

二幅
奈良 西大寺
絹本紺地金彩 （金）縦一七八・五 横一五〇・〇
絹本紺地金彩 （胎）縦一八〇・〇 横一四九・〇

〔金剛界・軸木墨書〕

文化九_{壬申}六月吉日「なら高天市町」表具屋吉左衛門表具仕之

〔胎藏界・軸木墨書〕

文化九_{壬申}六月吉日なら高天市「表具や吉左衛門作

①文化九年（一八一二） ②山内墨申堂 ④奈良県奈良市芝町一丁目一―五

27 春の風図 福田平八郎作

一幀
大分 大分県立芸術会館
紙本着色 縦一五七・〇 横九五・八

〔画面墨書〕

大正五年五月絵專貳五回

九州印

①大正五年（一九一六） ②（株）光影堂 ④大分県大分市牧緑一―六一

書 跡

28 三十六歌仙帖 松花堂昭乘筆（図18）

一帖
東京国立博物館
紙本彩色 縦一九・七 横一七・三

〔奥書〕

松花堂昭乗 三十六哥仙
色紙ほのくと
伏風乃

真跡無疑者也

申 霜月 古筆了伴印

②(株)光影堂 ④東京都台東区上野公園内

29 新羅飯万呂請暇解(図19)

一幅

紙本墨書 国立歴史民俗博物館
縦二七・八 横一七・八

〔紙背墨書〕

太一斤二両

上丹三斤

②(株)光影堂 ④千葉県佐倉市城内町一一七 ⑤解は天平宝字二年
(七五八)三月十五日のもの。

工芸

30 緋羅紗繡花鳥田水文引(二番水引)

京都 黒主山保存会 一枚
縦七三・〇 横二六六・〇

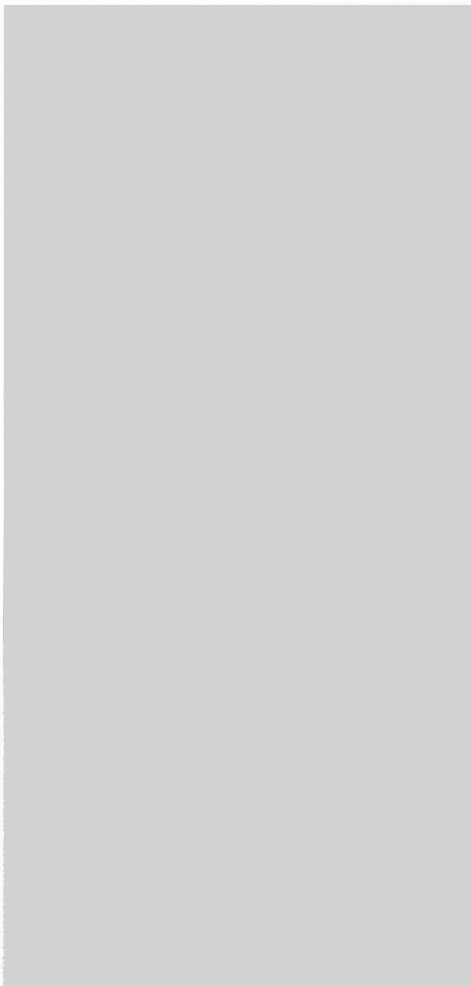
〔下部芯裂墨書・東〕

ノ角印「ワ」
カ「ヲ」
ヨ「ヲ」 □旒

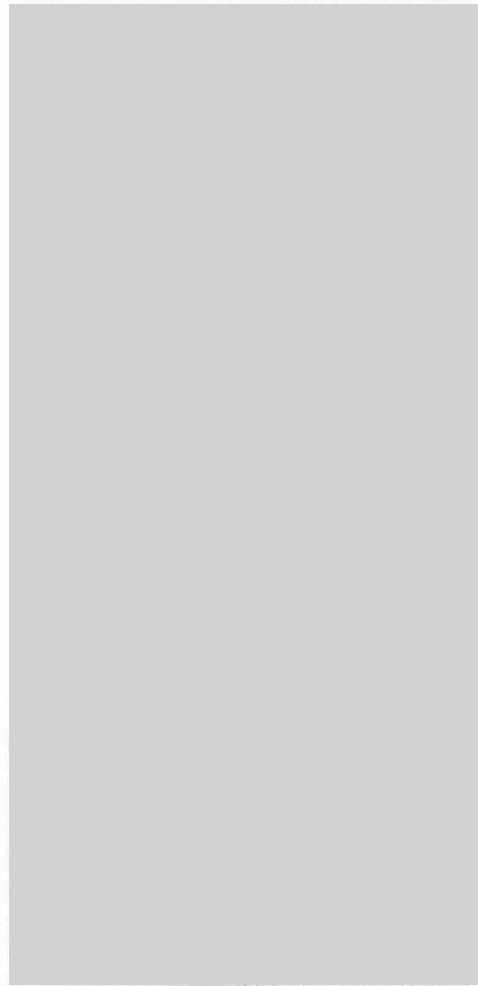
〔下部芯裂墨書・西〕

ト「チ」リ「六月吉日

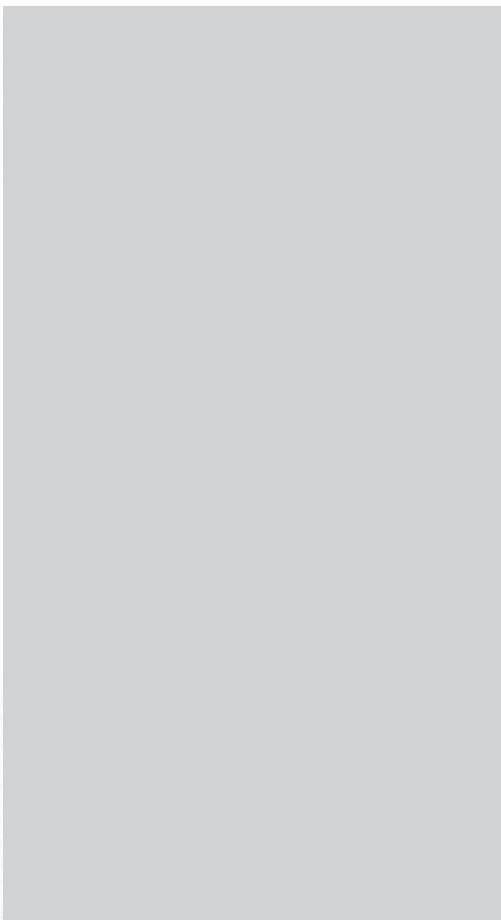
②(株)宇佐美松鶴堂 ④京都府京都市中京区室町三条下ル烏帽子屋
町 ⑤昭和六十年年度の修理で、下部芯裂から享保三年(一七一八)の
墨書銘が確認されている。



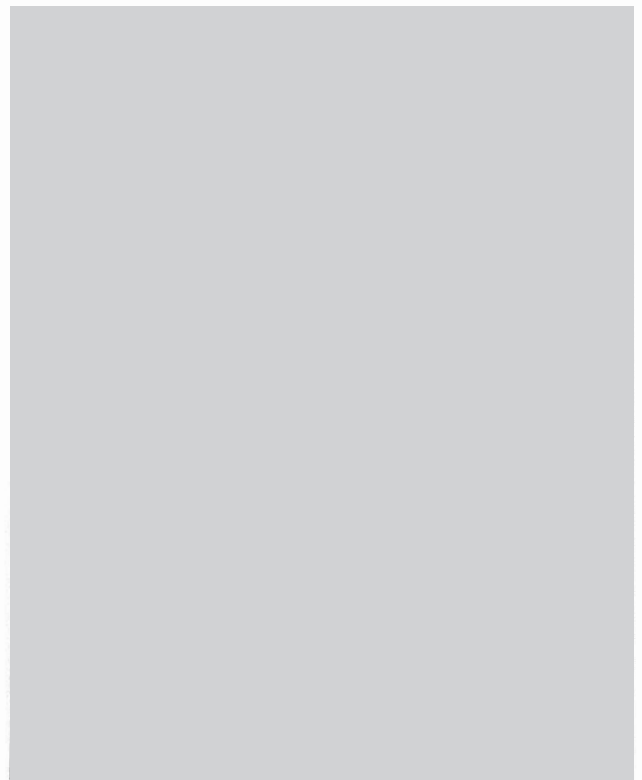
(2) 師子児又は大孤児



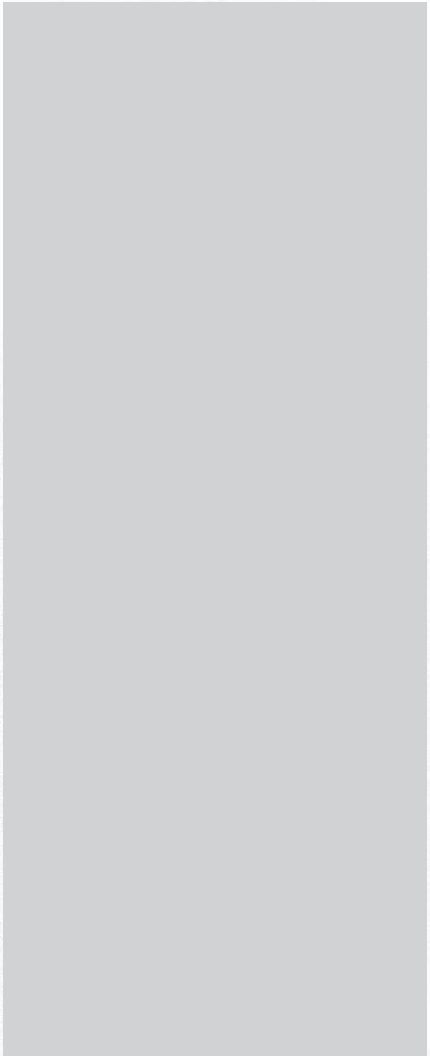
(1) 師子児又は大孤児



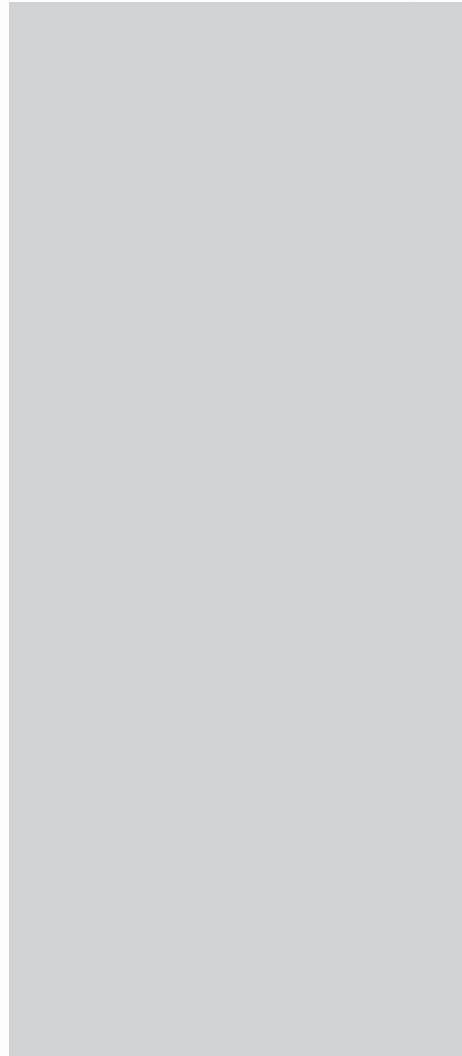
(4) 呉公カ



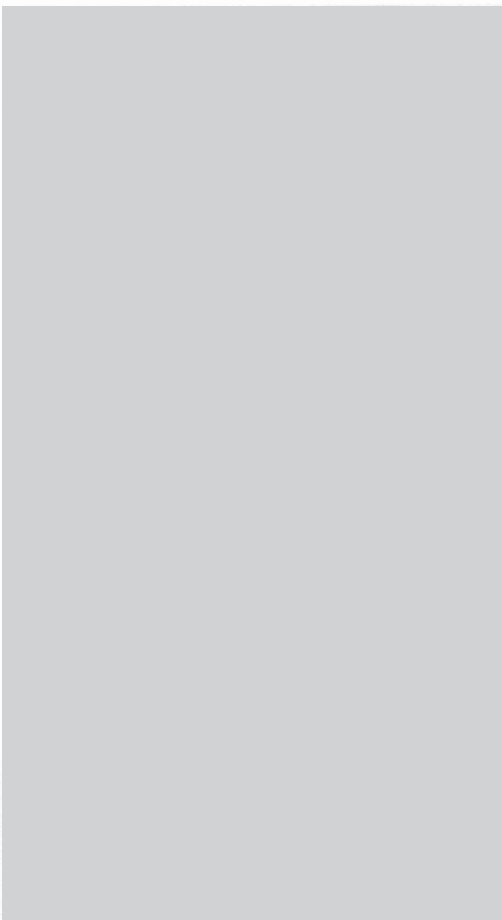
(3) 師子児又は大孤児



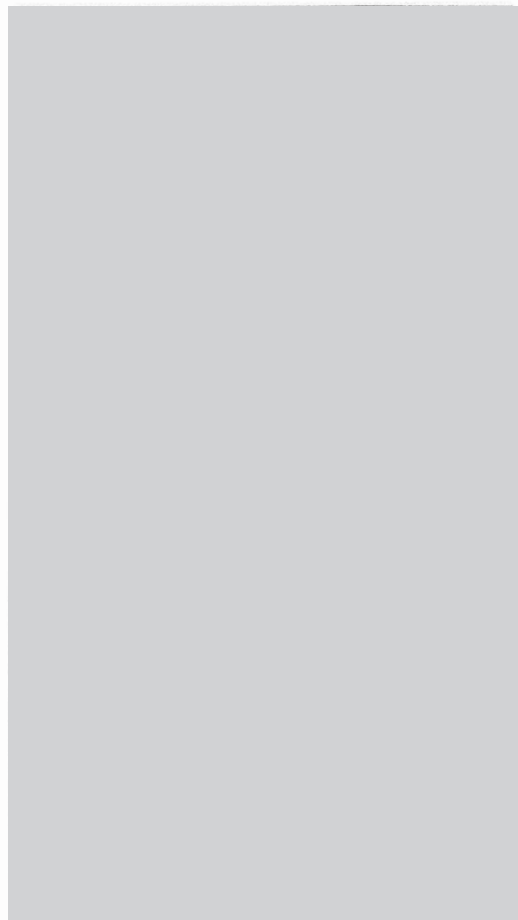
(6) 醉胡従



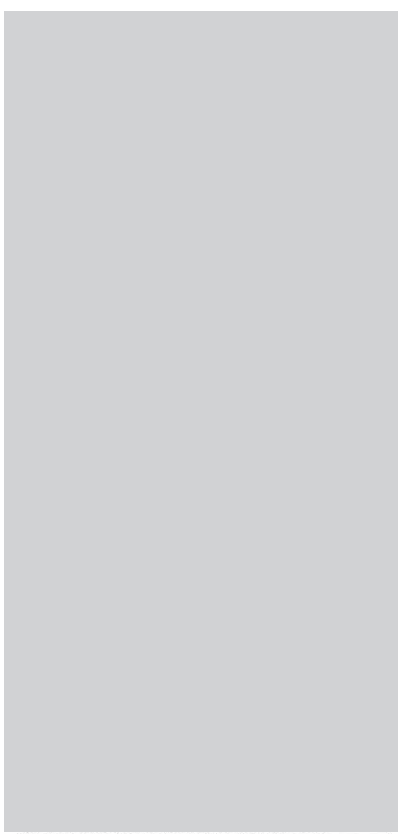
(5) 呉公カ



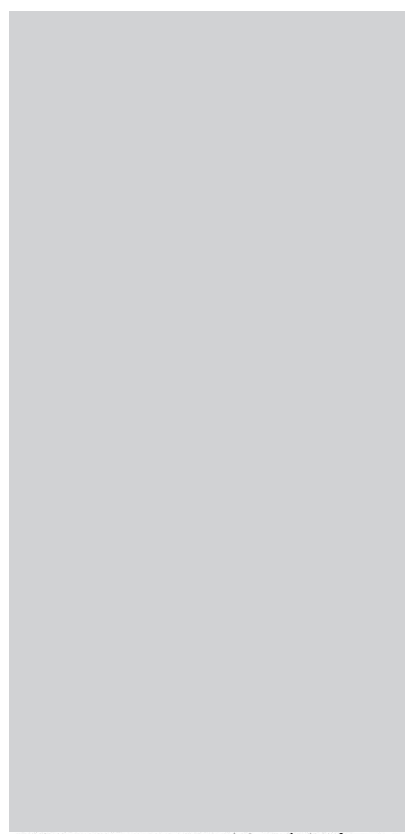
(8) 醉胡従



(7) 醉胡従

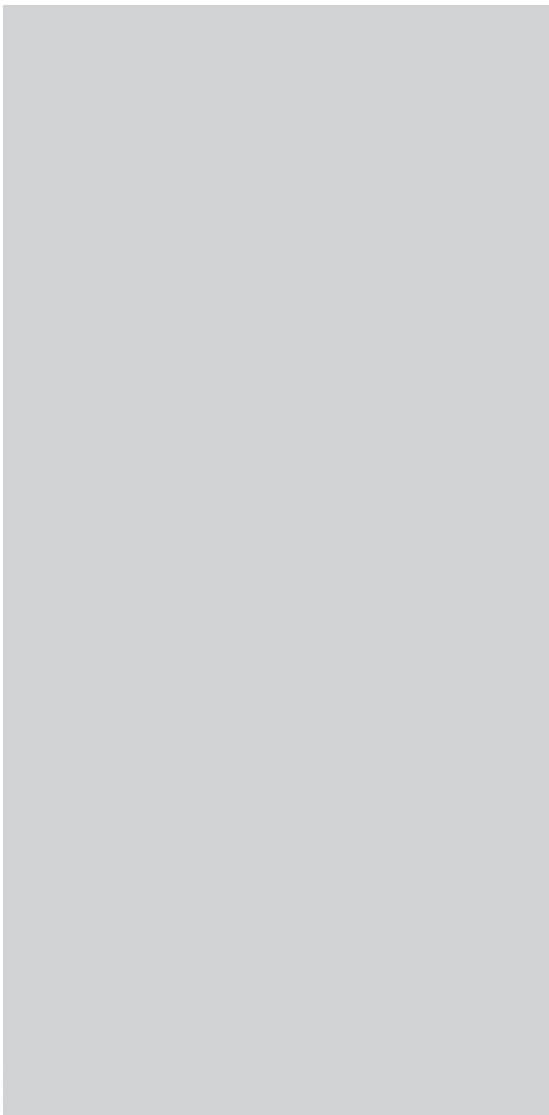


(2) 皇仁庭 (二)

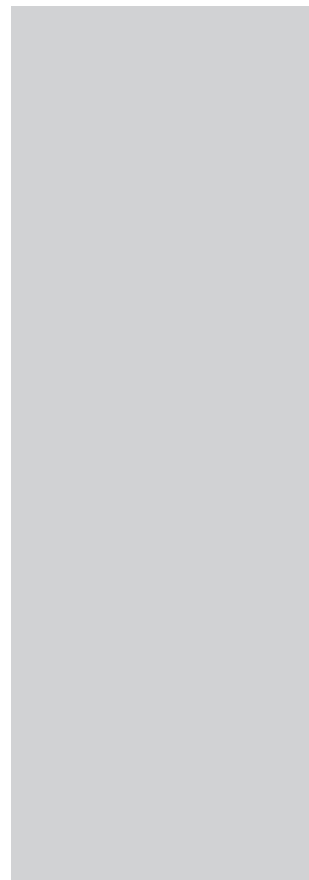


(1) 皇仁庭 (二)

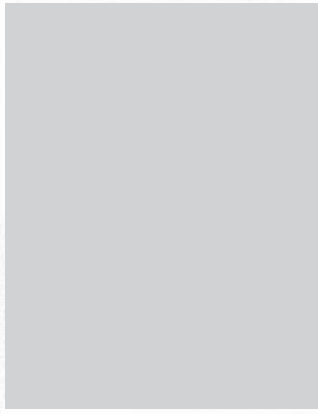
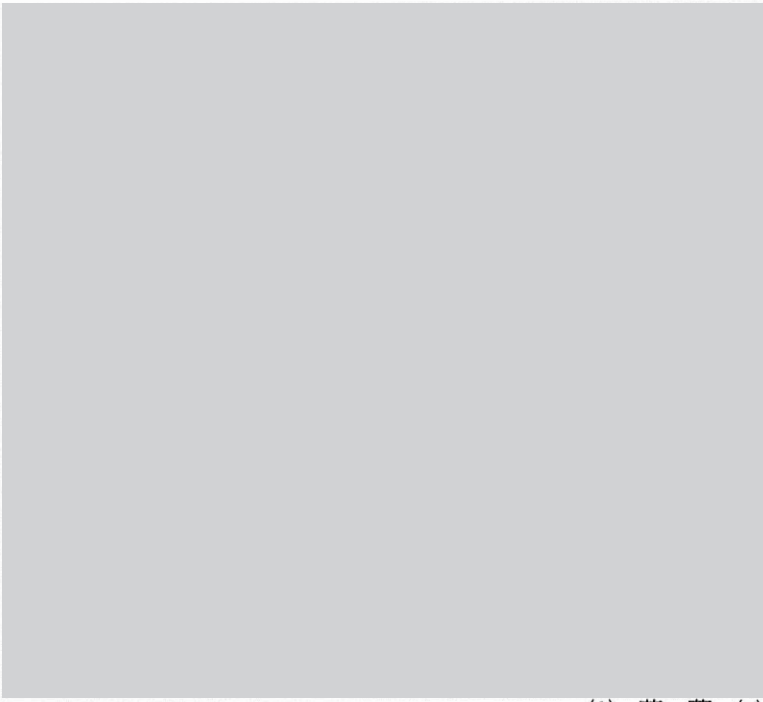
2 舞楽面 東大寺



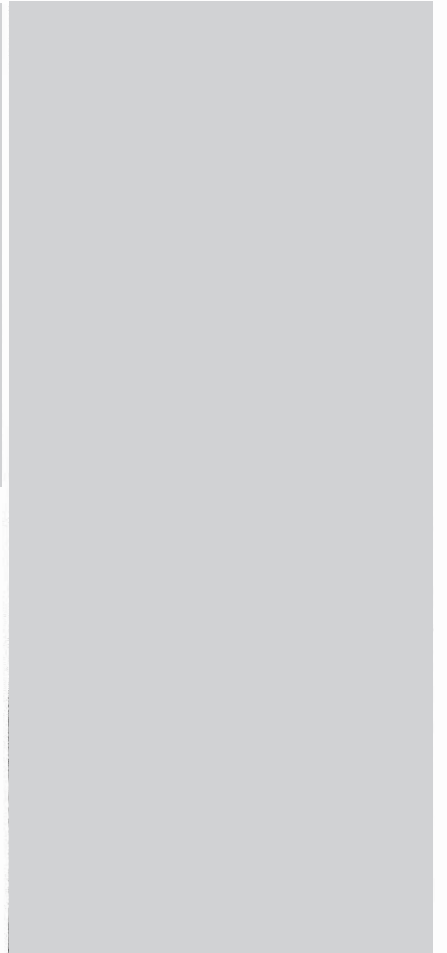
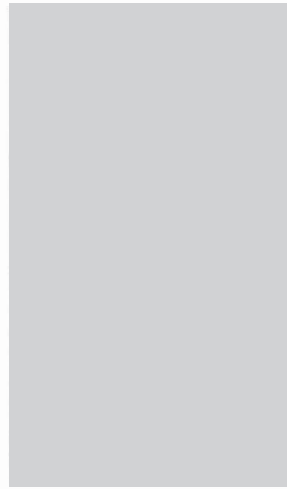
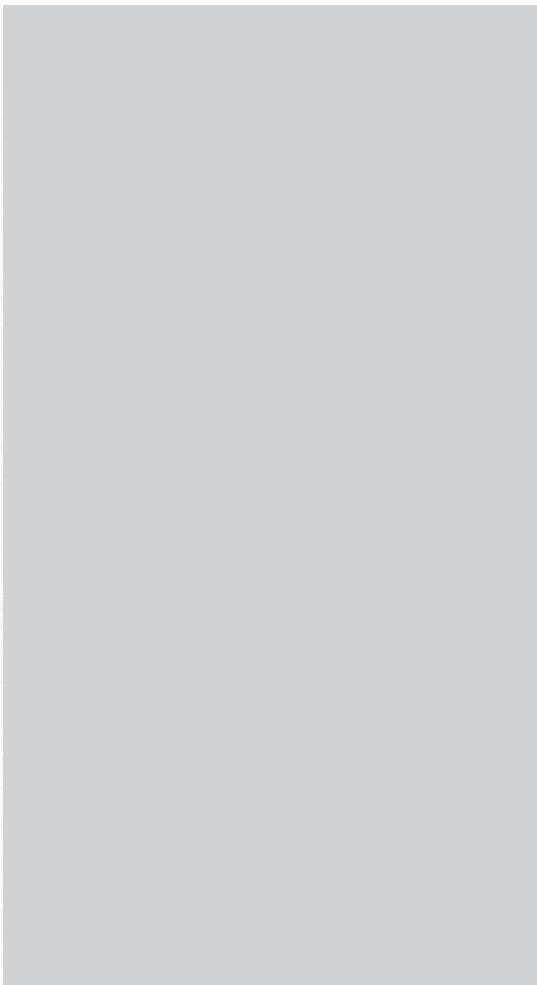
(像内背部)



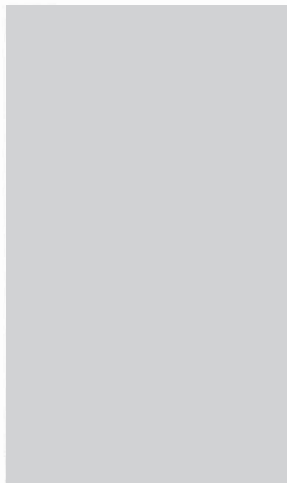
3 薬師如来立像 称念寺



(1) 菩薩 (三)

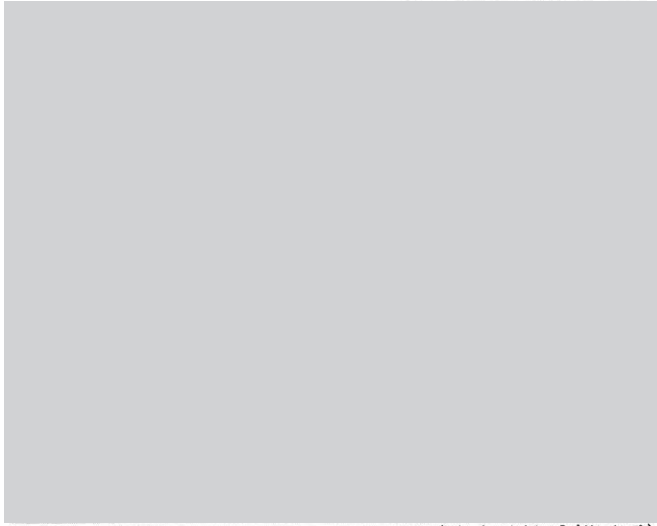


(2) 菩薩面残欠 (二)

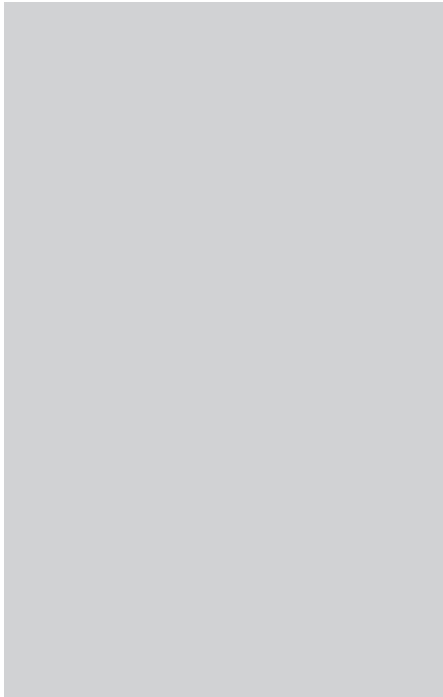
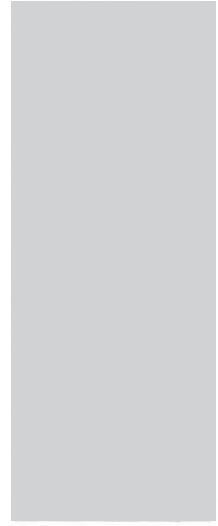


(3) 菩薩面残欠 (三)

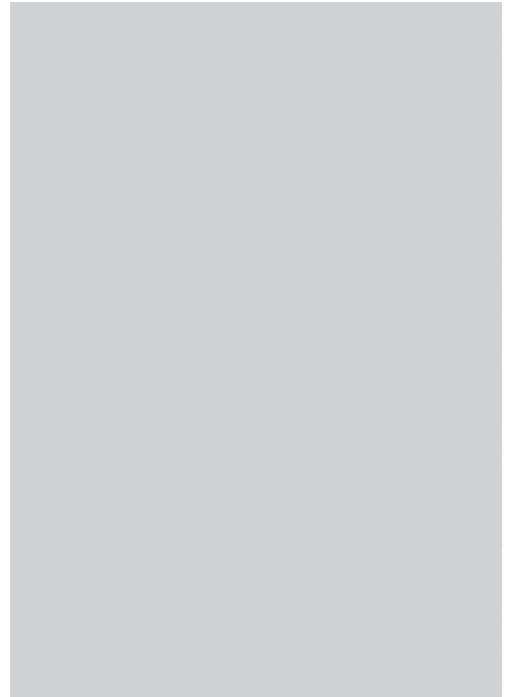
4 菩薩面および菩薩面残欠 東大寺



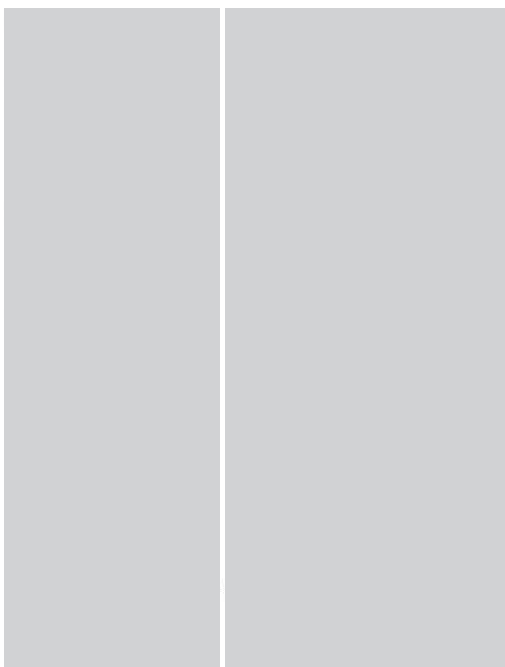
(像内首柄受部正面)



(体部材左肩矧面)

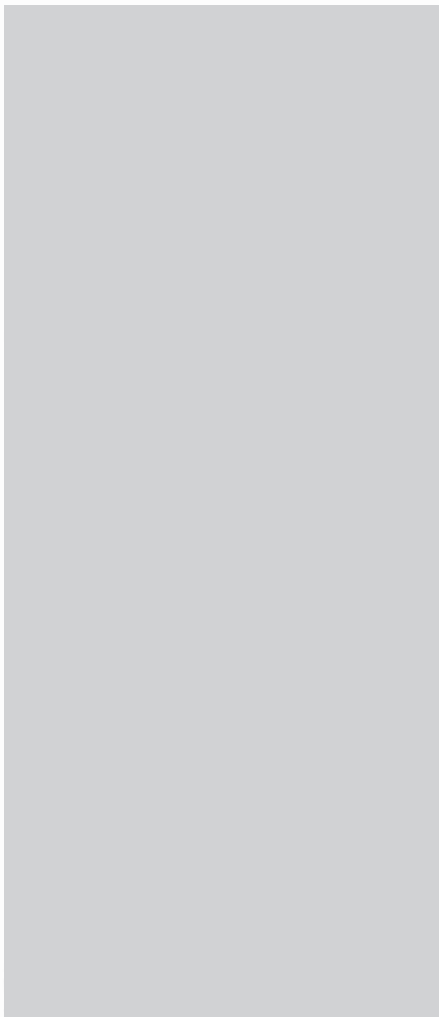


(像内後頭部)

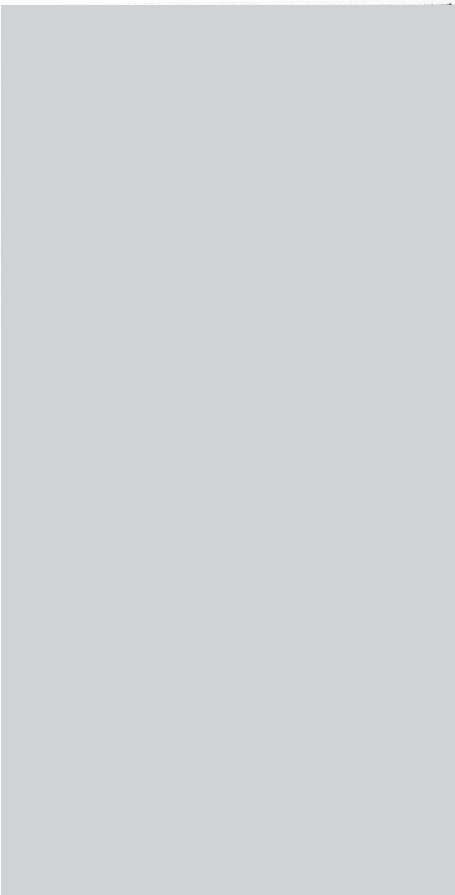
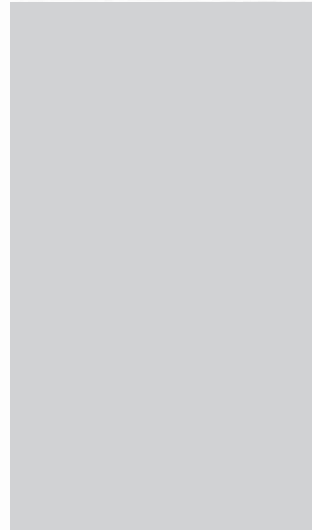


(台座裏)

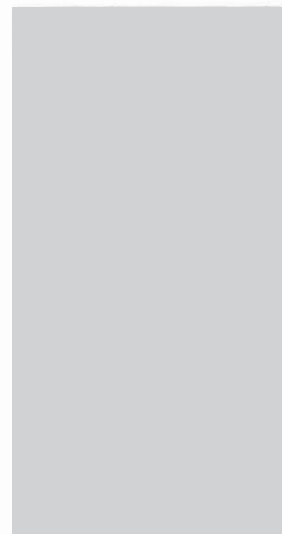
5 難陀龍王立像 長谷寺

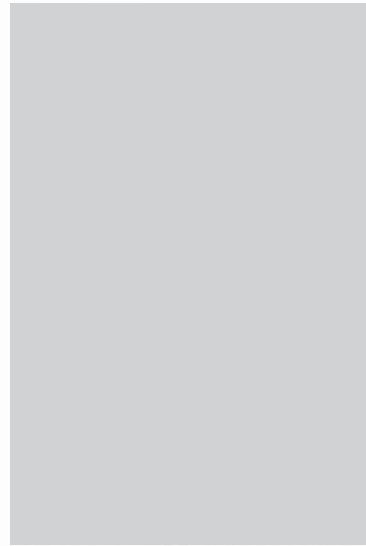
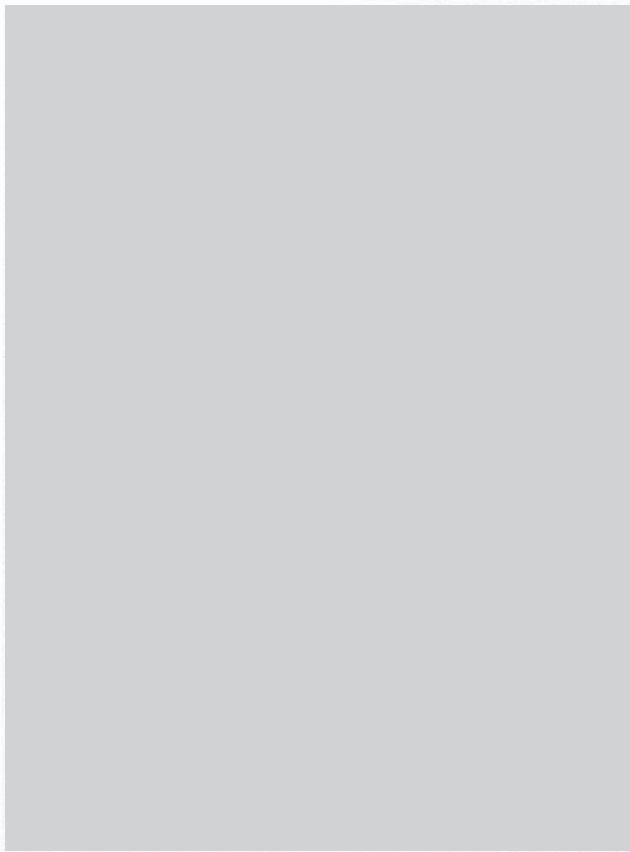


(阿形像内背部)



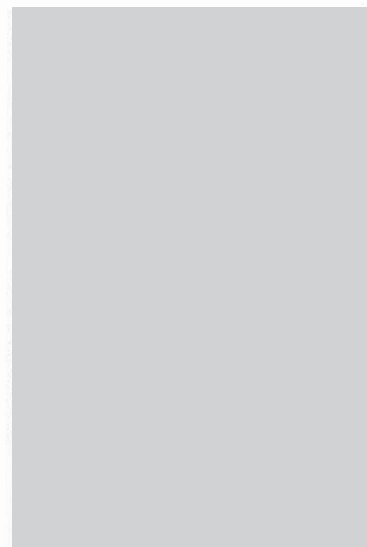
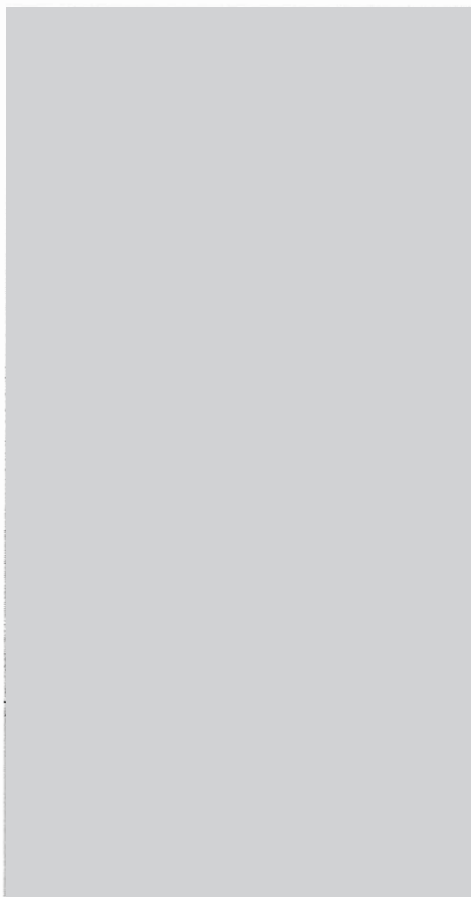
(咩形像内背部)





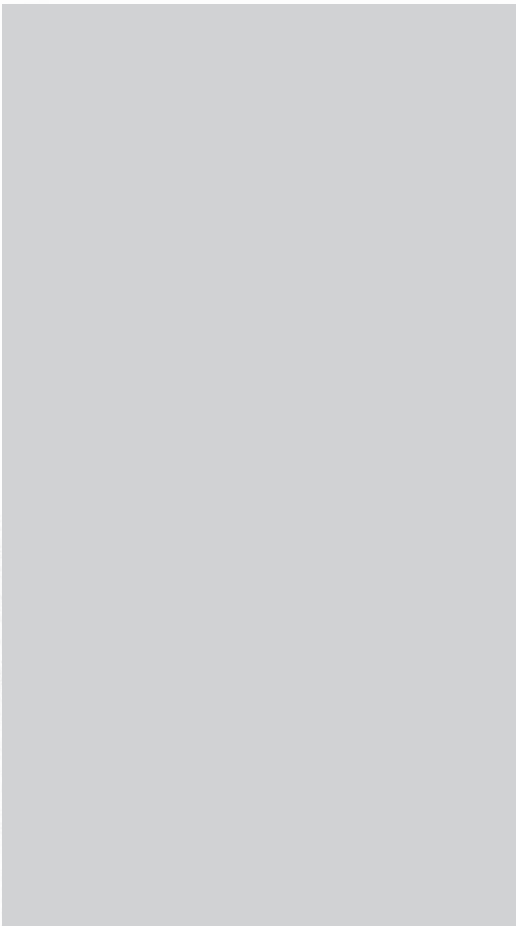
(像内背部)

7 弥勒菩薩坐像 興隆寺

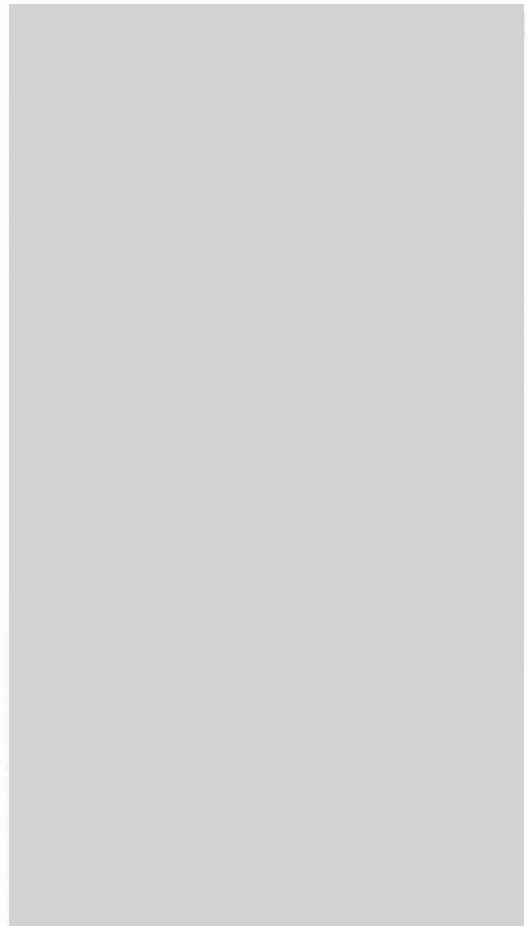


(像内両足部)

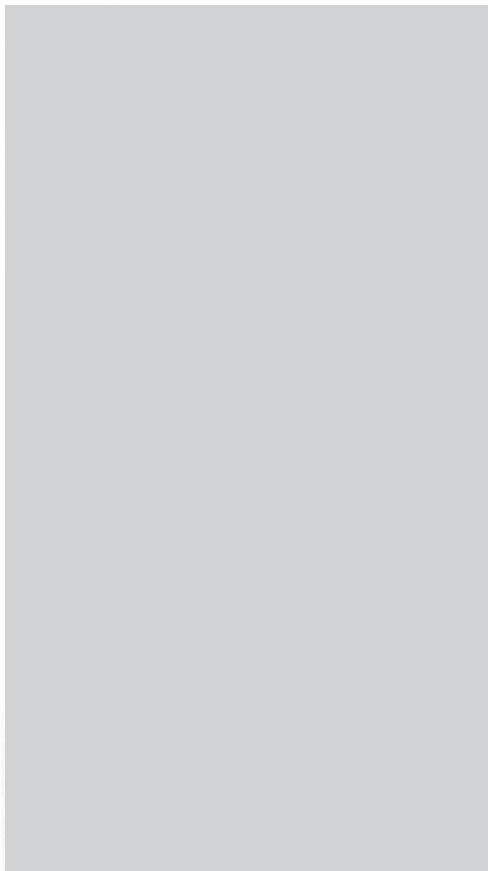
8 釈迦如来坐像 願成寺



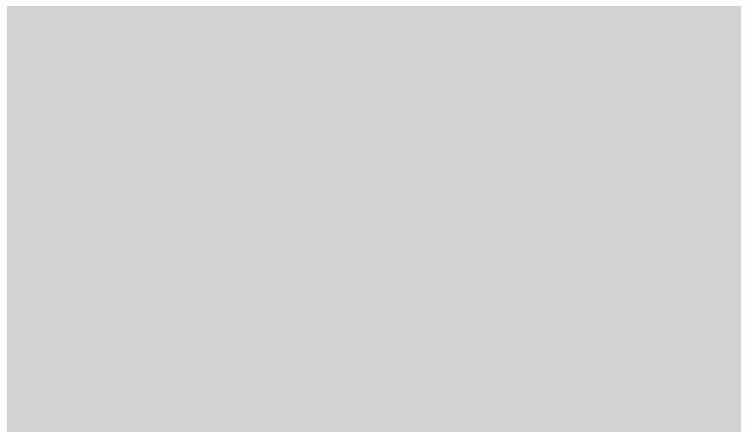
(像内胸腹部)



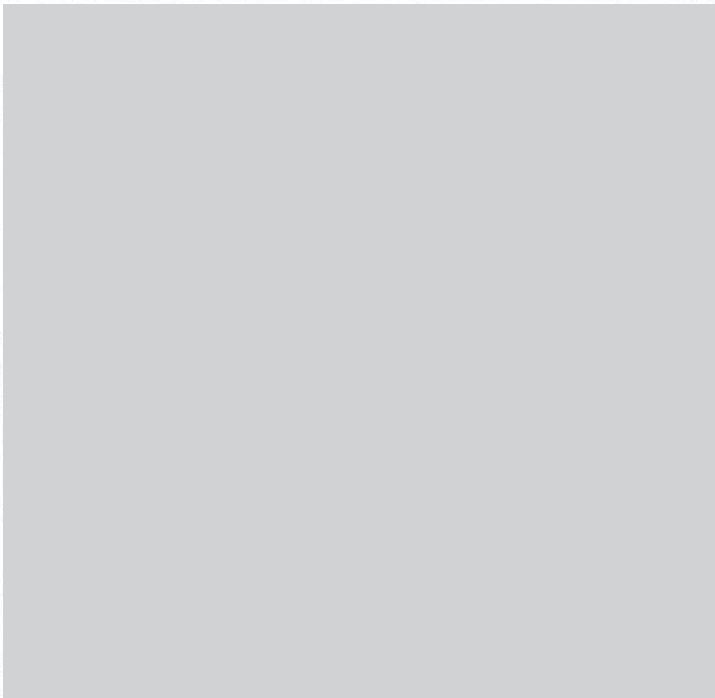
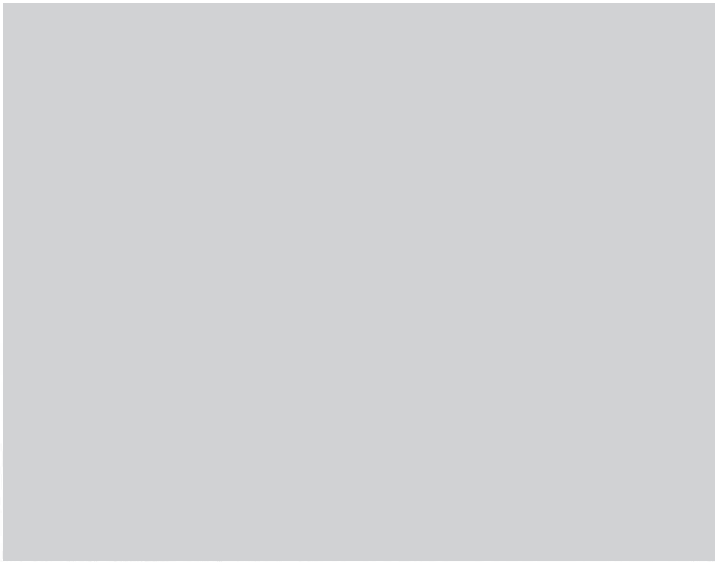
(像内後頭部)



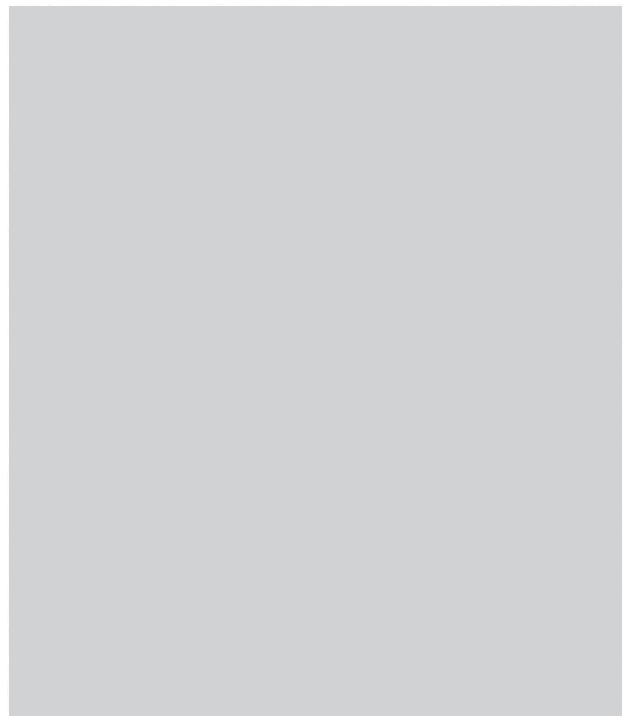
(像内胸部孔内納入舎利包紙)



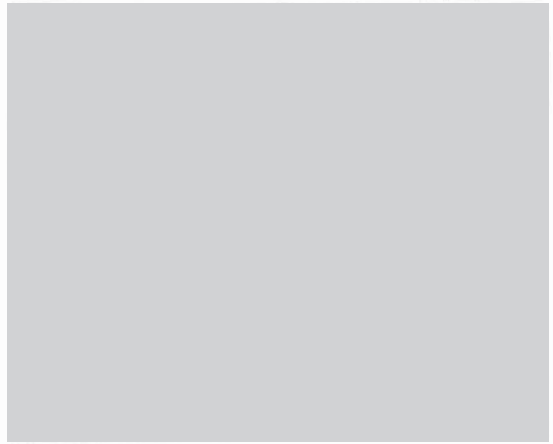
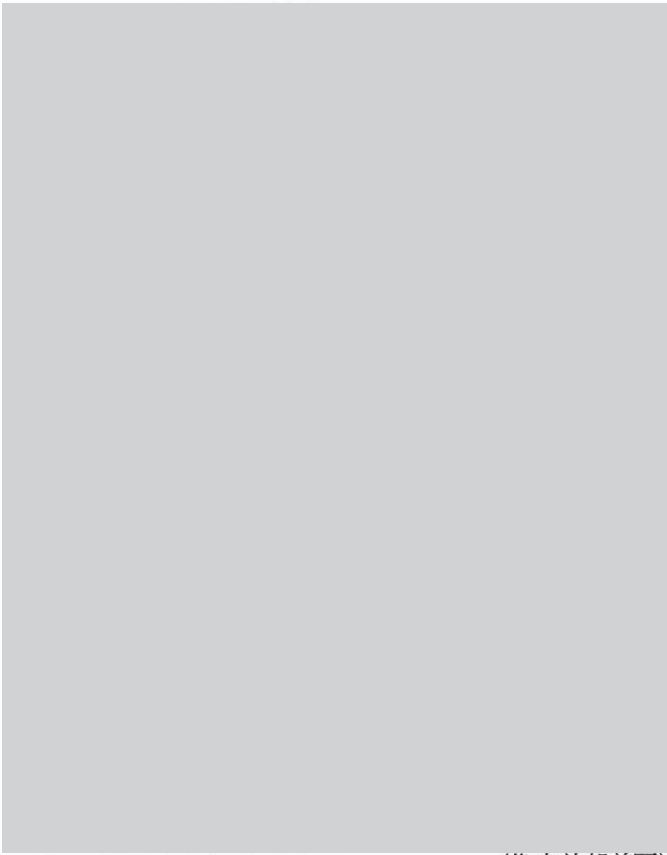
(白豪孔内納入舎利及び包紙)



(像内体部前面)

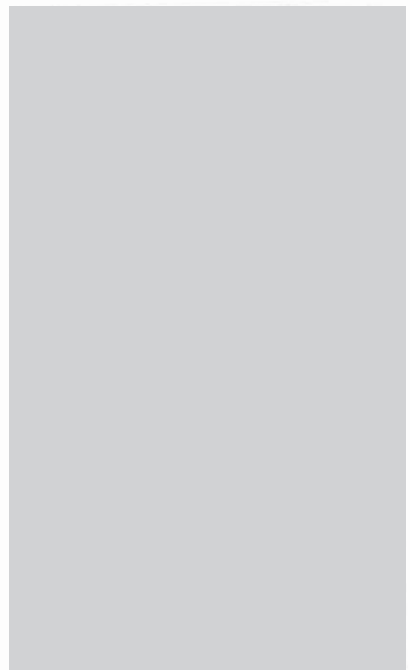
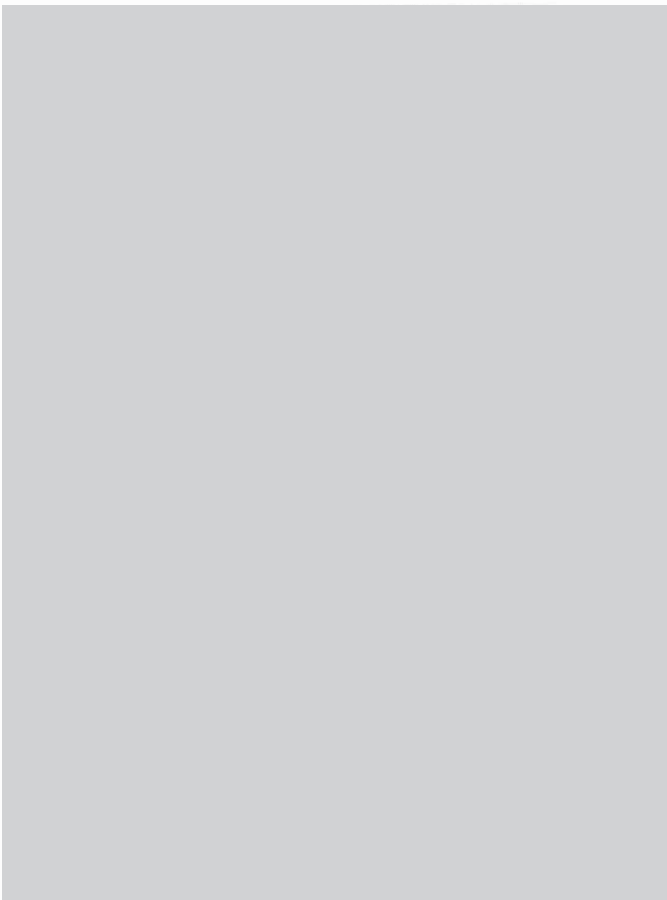


(両手指・掌部)



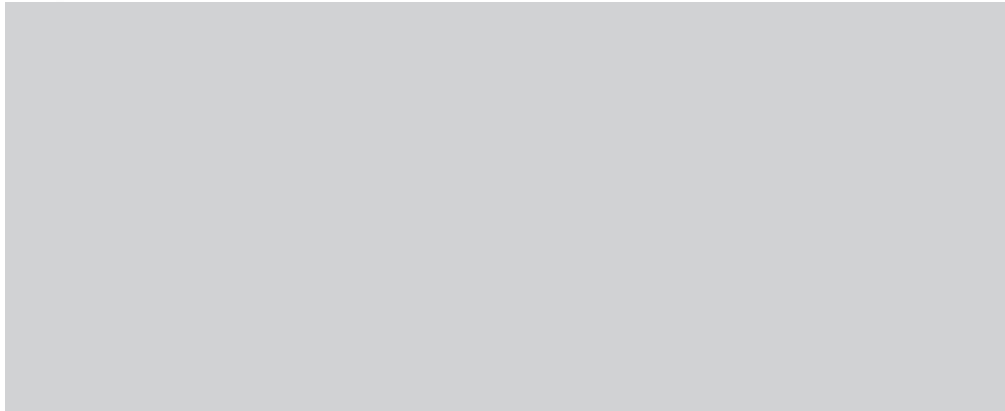
(像内首部前面)

10 時宗祖師像 (その五) 長楽寺

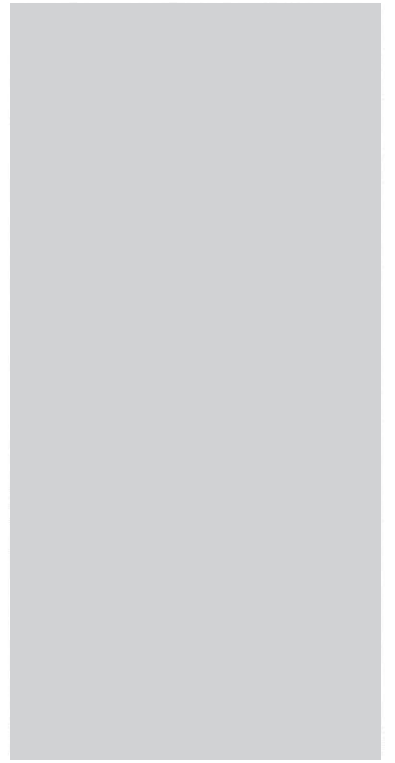


(垂裳裏面)

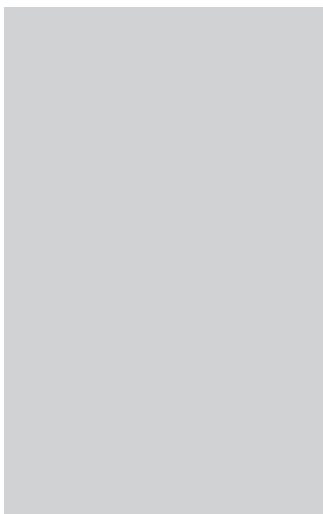
11 大応国師坐像 酬恩庵



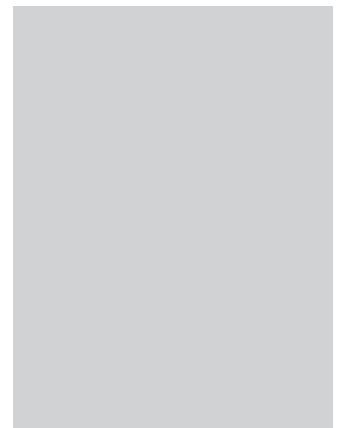
(首柄中央切欠部)



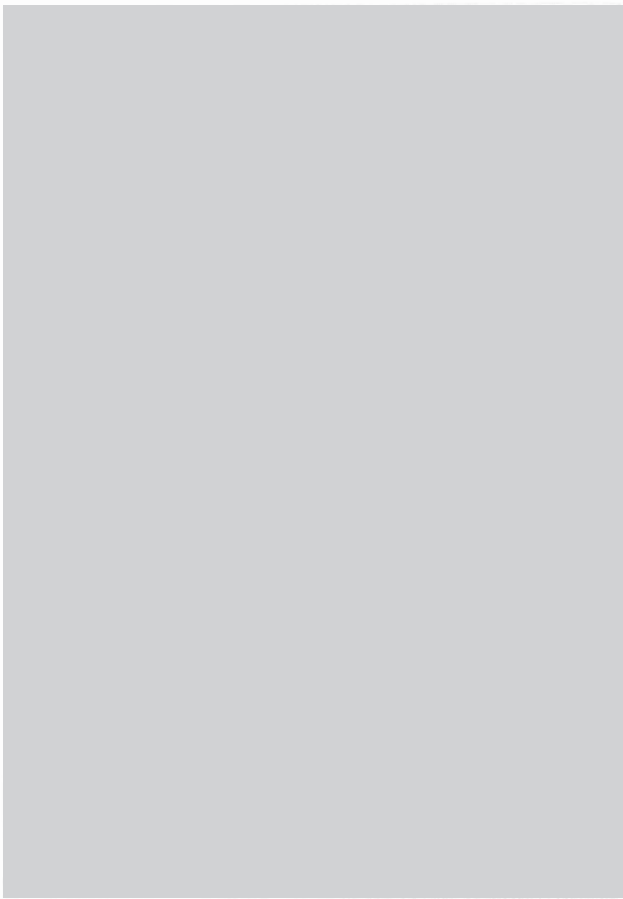
(両肩備柄)



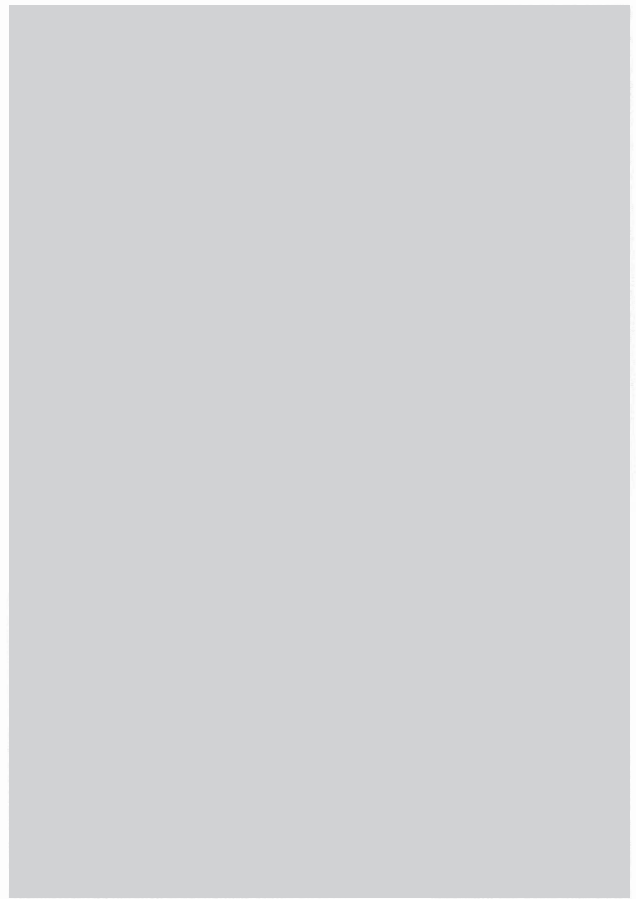
(備柄右方)



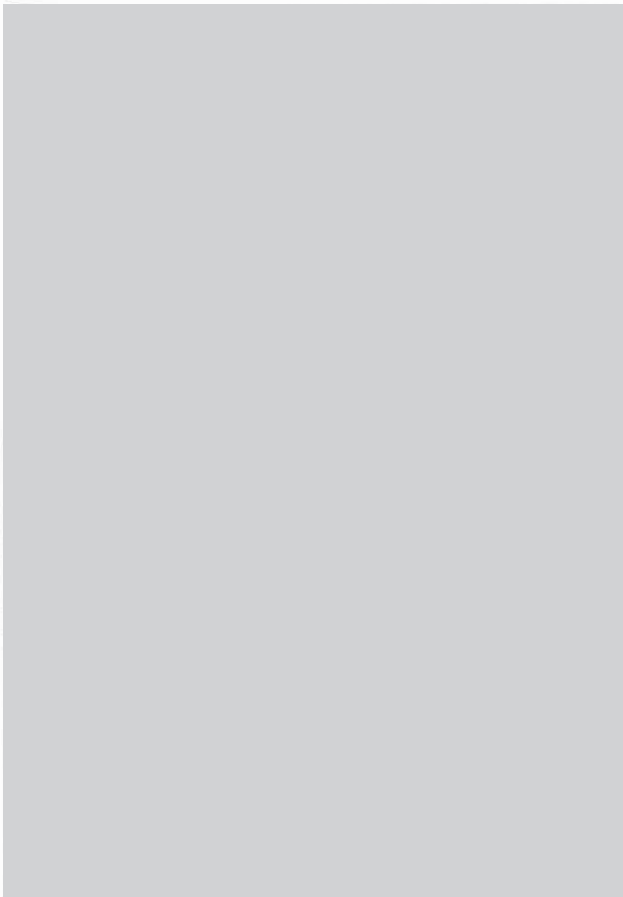
(備柄左方)



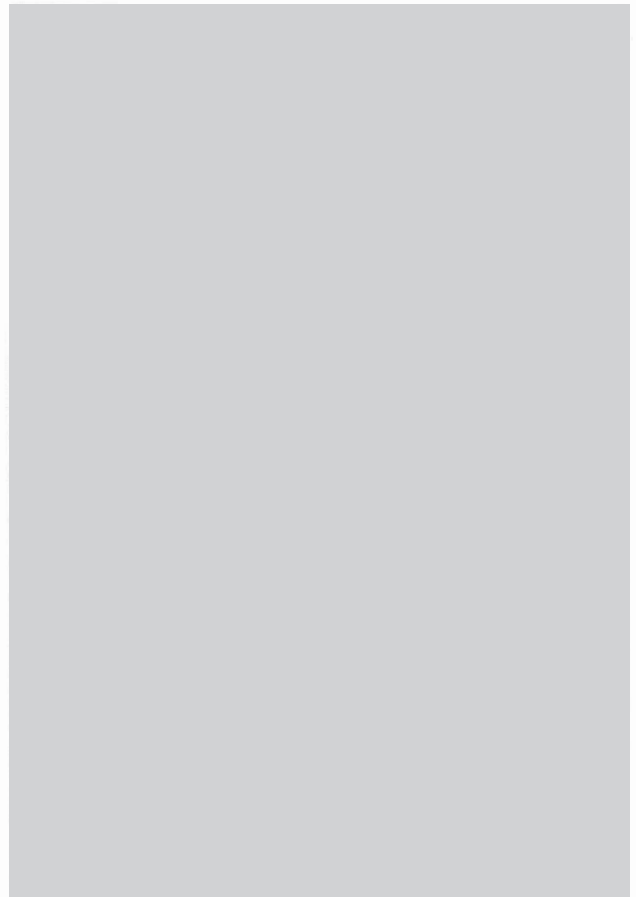
(体部材右肩矧面)



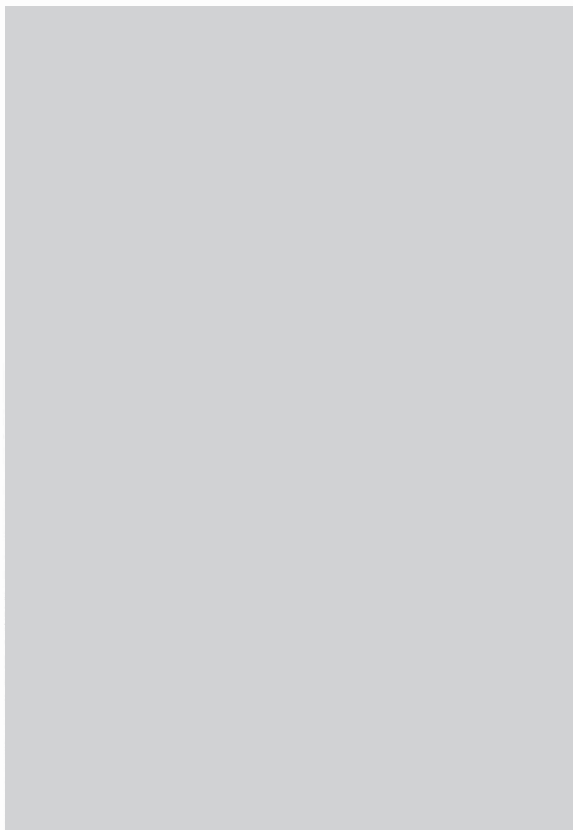
(体部材左肩矧面)



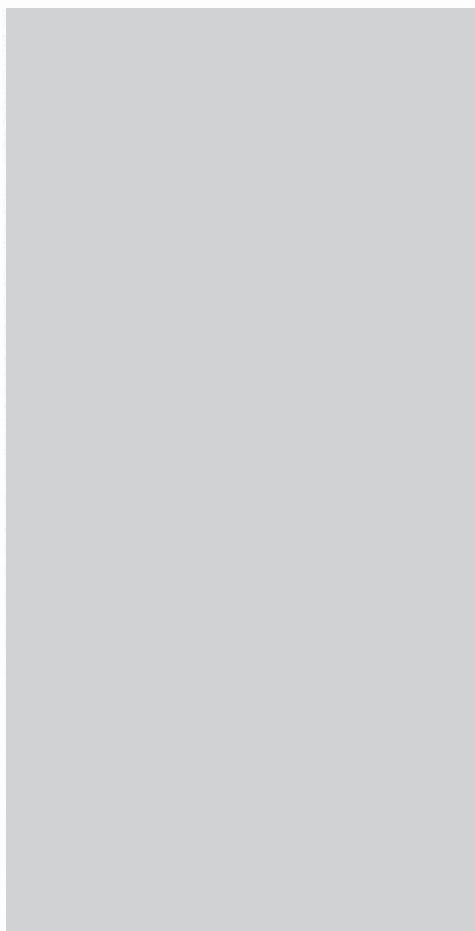
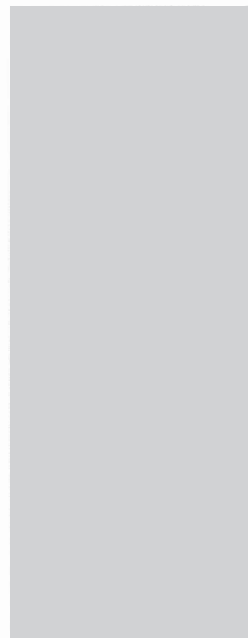
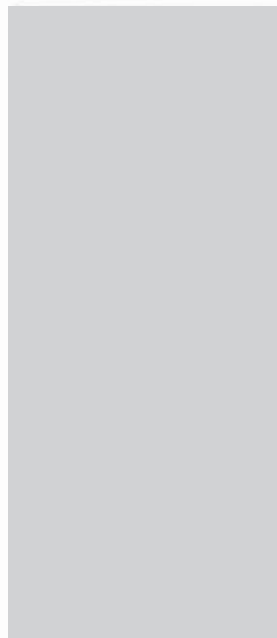
(右腕材肩部矧面)



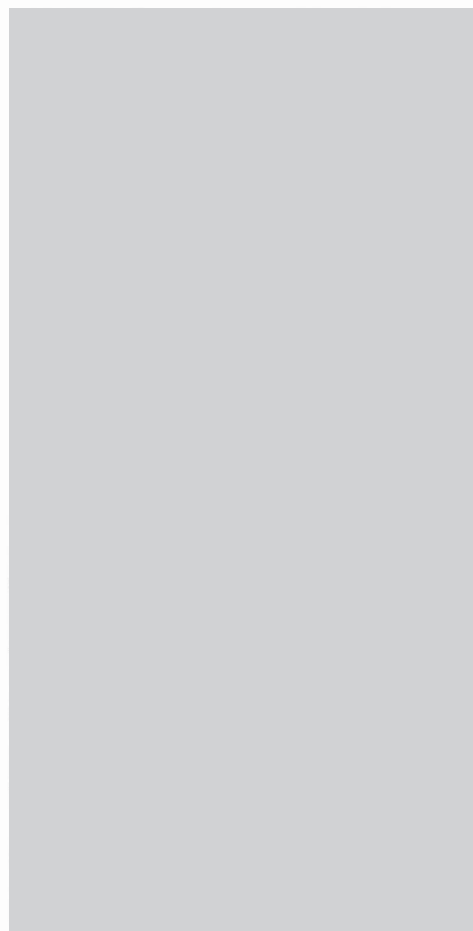
(左腕材肩部矧面)



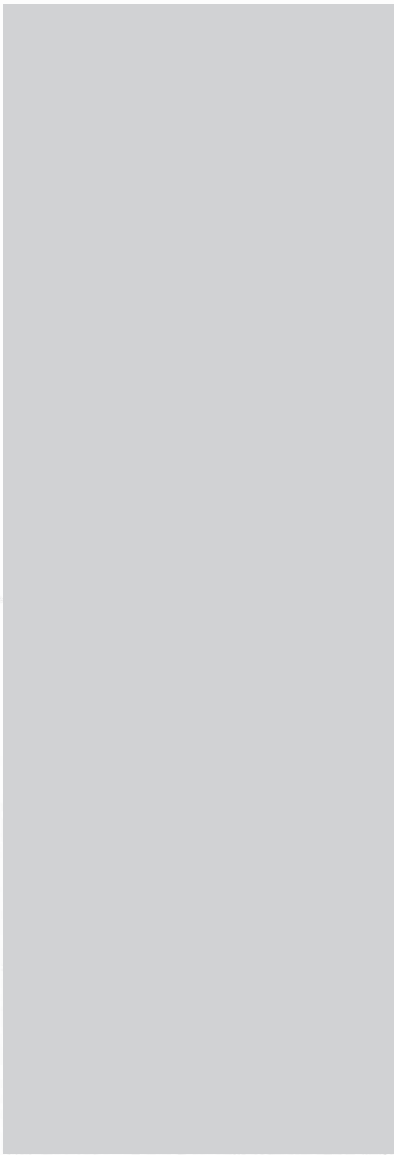
(十一面観音像内後頭部)



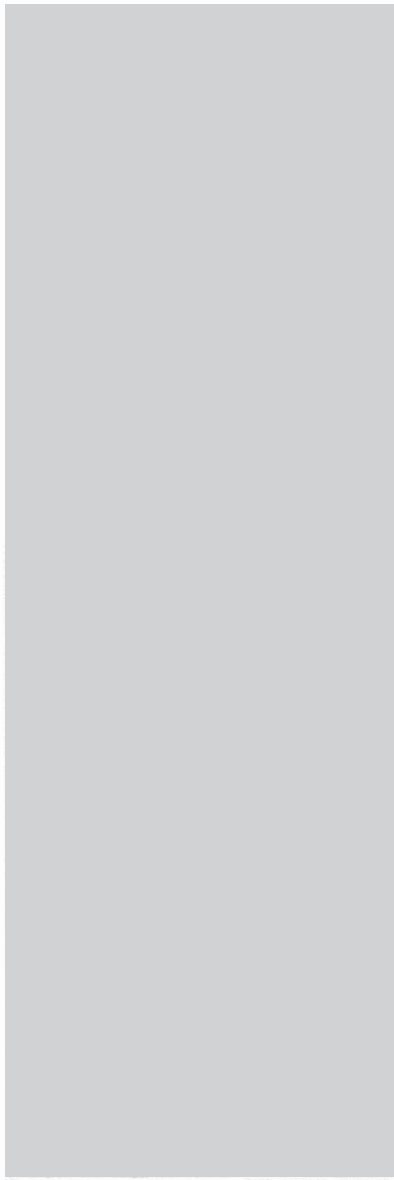
(龍王像内胸部)



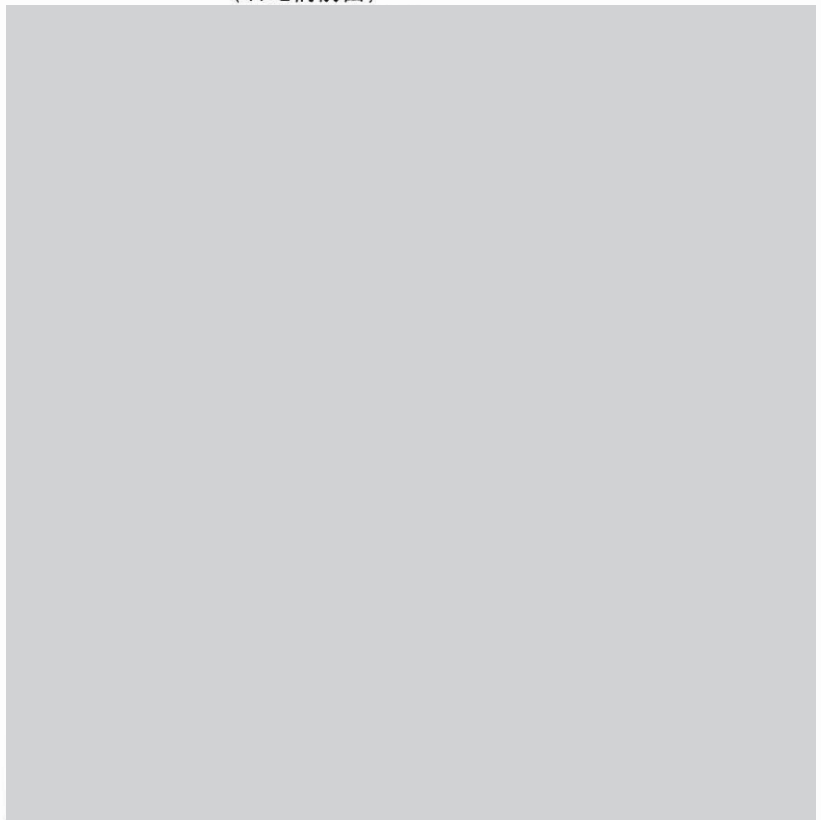
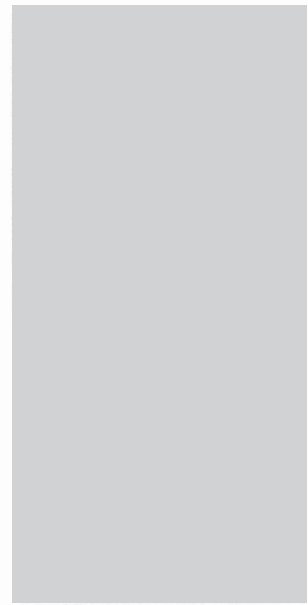
(龍王像内頸部)



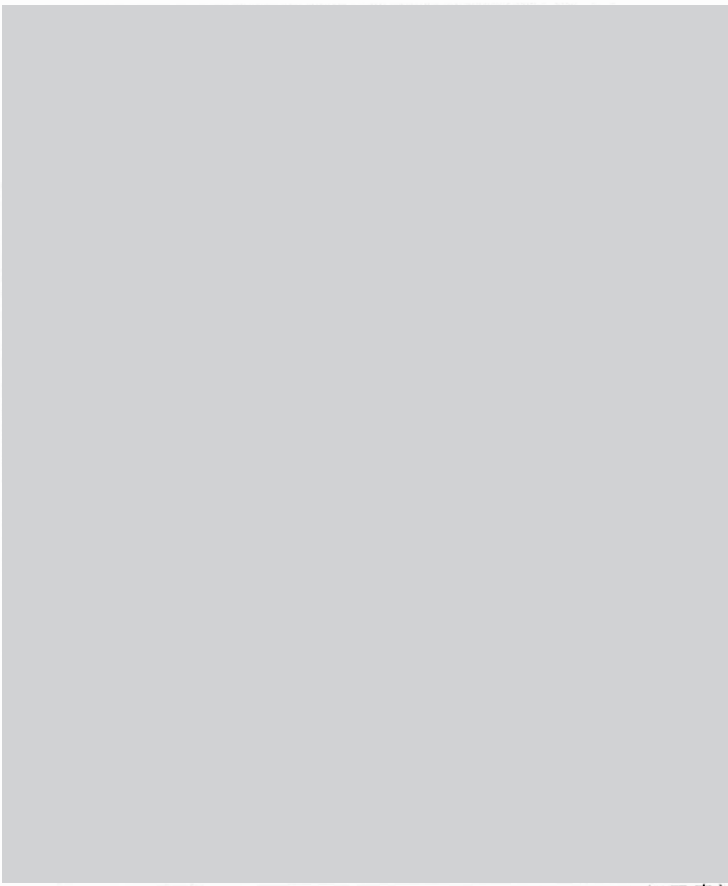
(左足柄前面)



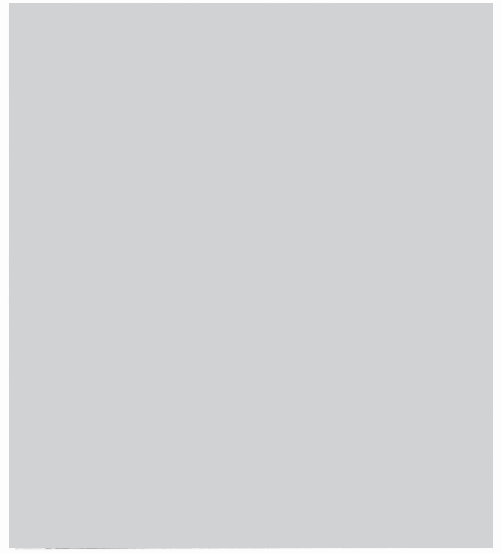
(右足柄前面)



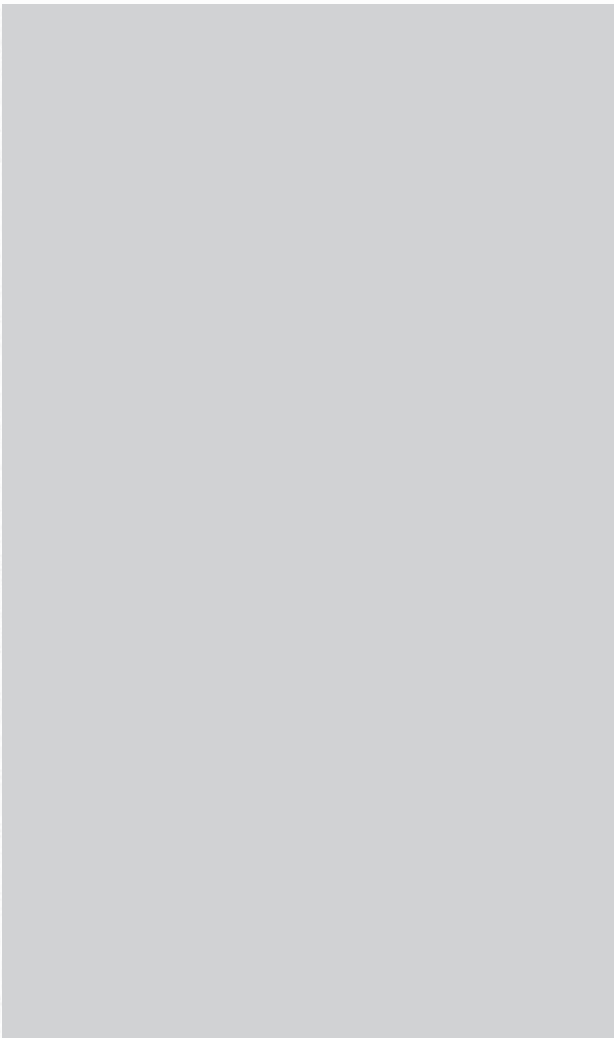
(左足柄外側)



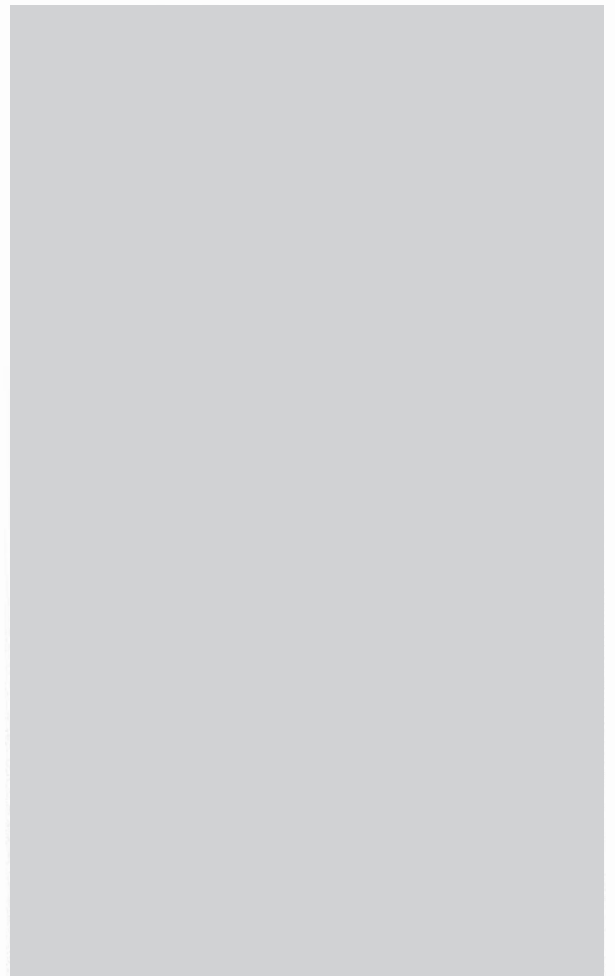
(像内頸部—胸部墨書)



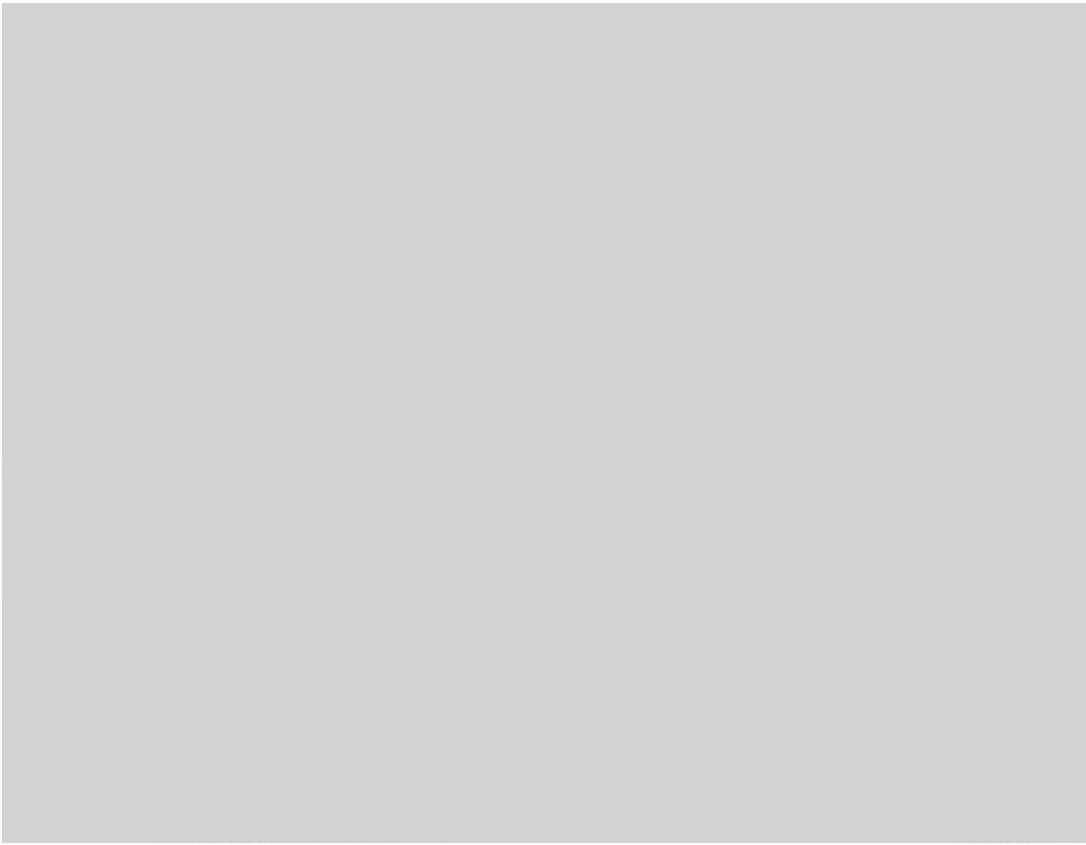
(像内両足部墨書)



(玉
眼
押
之
紙)



15 地藏菩薩坐像 如意寺

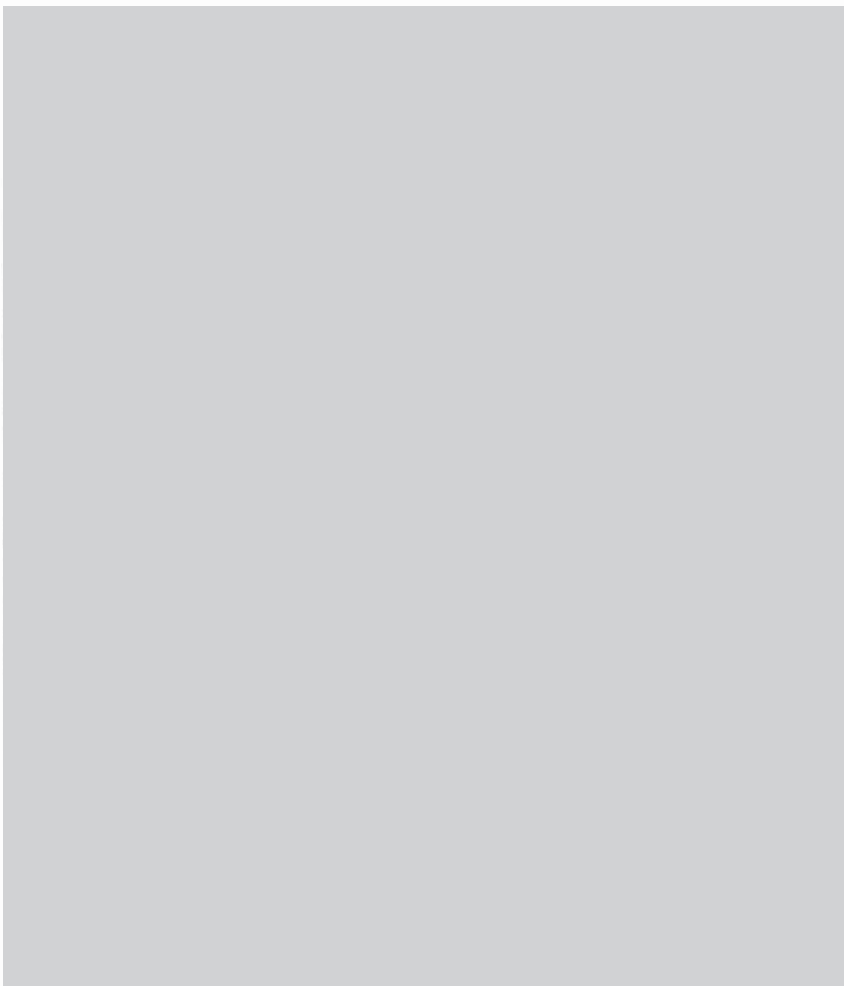


(総裏紙)

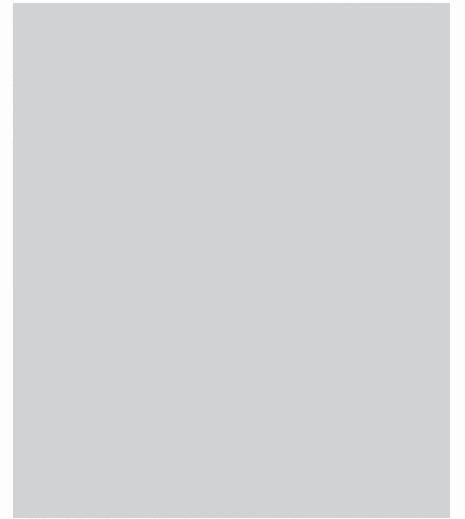
16 浄土曼荼羅図 善光寺



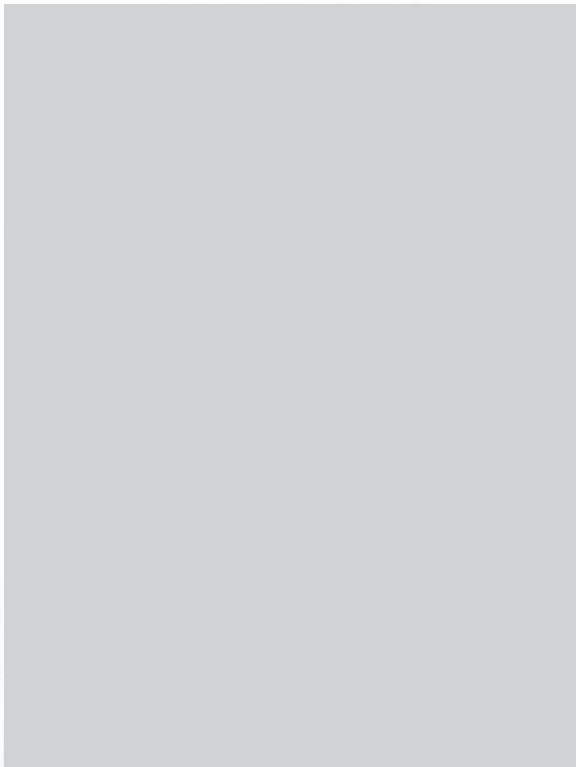
17 絵馬 (繫馬図) 浄土寺



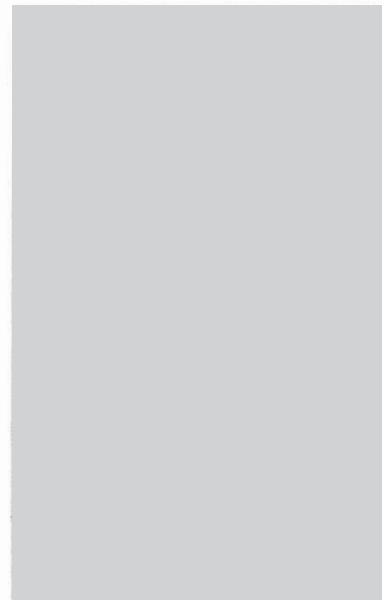
(奥書)



18 三十六歌仙帖 東京国立博物館



(紙背)



19 新羅飯万呂請暇解 国立歴史民俗博物館